



茨城県

茨城県景気ウォッチャー調査

(平成22年12月調査分)

《景気の現状判断DI》

	平成22年9月	平成22年12月	前回調査比
茨城県	43.6	46.3	+2.7
県北地域	42.5	50.4	+7.9
県央地域	42.1	44.2	+2.1
鹿行地域	41.7	46.4	+4.7
県南地域	48.7	48.2	△0.5
県西地域	43.0	42.5	△0.5

《景気の先行き判断DI》

	平成22年9月	平成22年12月	前回調査比
茨城県	41.2	43.7	+2.5
県北地域	40.8	40.9	+0.1
県央地域	40.4	45.4	+5.0
鹿行地域	41.2	41.1	△0.1
県南地域	44.4	47.7	+3.3
県西地域	39.0	43.4	+4.4

平成23年1月

茨城県企画部統計課

目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	3
1	全県の動向	3
	(1) 景気の現状判断D I	3
	(2) 景気の先行き判断D I	4
2	地域別の動向	5
	(1) 景気の現状判断D I	5
	(2) 景気の先行き判断D I	8
3	回答率	10
III	景気の判断コメント	11
1	景気の現状判断コメント	11
2	景気の先行き判断コメント	21
3	その他の意見	31

問い合わせ先

統計課企画分析グループ TEL:029-301-2642

ホームページアドレス

<http://www.pref.ibaraki.jp/tokei/betu/bukka/watch/index.html>

調査の概要

1 調査の目的

県内の事業所等において経済の第一線で働いている人々から、景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで、県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気動向判断等の基礎資料とする。

2 調査の範囲

(1)対象地域

県内全域を対象とする。また、全域を県北、県央、鹿行、県南及び県西の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市及び郡は以下のとおりである。 ※平成22年12月1日現在

地域	市及び郡
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、那珂郡、久慈郡
県央地域	水戸市、笠間市、小美玉市、東茨城郡
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県南地域	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡
県西地域	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

(2)調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から、(1)で示した地域ごとに60名、計300名を調査客体とする。

【地域別・業種別調査客体数】

業種名	具	例	県北地域	県央地域	鹿行地域	県南地域	県西地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等		38	39	38	37	36	188
企業関連	製造業（食料品、一般機械器具等）、建設業、金融業		17	16	17	18	19	87
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等		5	5	5	5	5	25
	計		60	60	60	60	60	300

3 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断（方向性）
- (2) (1) のコメント（理由）
- (3) 景気の先行きに対する判断（方向性）
- (4) (3) のコメント（理由）
- (5) その他景気に関する意見（自由回答）

4 調査月及び調査期間

調査月は3月、6月、9月及び12月の年4回である。平成22年12月調査の調査期間は平成22年12月1日から平成22年12月31日である。

5 利用上の注意

- (1) DI (Diffusion Index) は景気の方向性 (景気が上向きか下向きか) をみるものであり、景気の水準を判断するものではない。
- (2) ウォッチャーの回答構成比は、小数第1位までの表示とし、表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、構成比の合計は100%とならない場合がある。

DI(Diffusion Index)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は、以下のとおり5段階としているが、それぞれに点数化し、これらを各回答区分の構成比 (%) に乗じて、景気の方角性をみるための指標 (DI) を算出している。

回答区分	良くなって いる	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪くなって いる
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

2 具体例

回答者数100名で、回答内訳が以下の場合。

良くなって いる	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪くなって いる
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は

良くなって いる	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪くなって いる
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって、DI値は、

$$(1点 \times 15.0\%) + (0.75点 \times 27.0\%) + (0.5点 \times 25.0\%) + (0.25点 \times 11.0\%) + (0点 \times 22.0\%) = 50.5 \text{ となる。}$$

この値は、全員が「変わらない」と回答した場合は、 $(0.5点 \times 100\%) = 50$ となることから、50を上回っているときは、景気は上昇局面にあり、また50を下回っているときは、景気は下降局面にあるといえる。

調査結果の概要

1 全県の動向

(1) 景気の現状判断DI

3か月前と比較した景気の現状判断DIは46.3となった。9月調査分より2.7ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を14期連続で下回った。

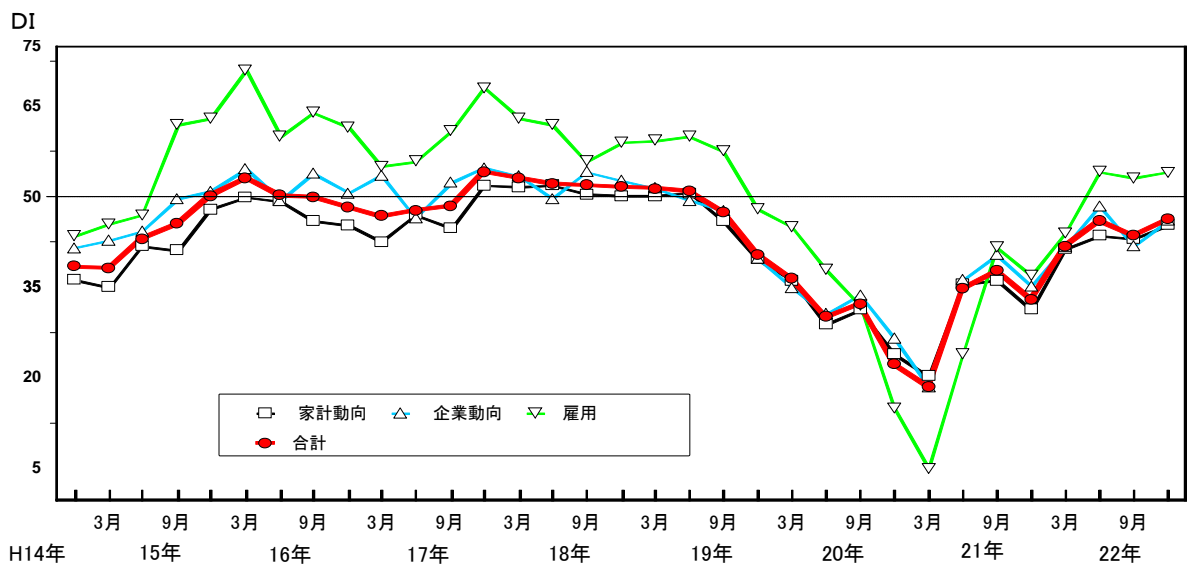
表1-1 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成21年 12月	平成22年 3月	平成22年 6月	平成22年 9月	平成22年 12月
合計		33.0	41.8	46.0	43.6	46.3
家計動向関連		31.4	41.4	43.6	43.1	45.4
小売関連		27.0	38.0	44.0	49.0	49.0
飲食関連		33.8	42.5	47.2	40.0	40.3
サービス関連		33.3	42.7	41.2	36.9	42.6
住宅関連		44.4	55.6	52.8	58.3	50.0
企業動向関連		35.2	41.8	48.5	41.9	46.1
農林水産業		40.6	43.8	46.4	42.9	53.6
製造業		39.1	41.8	48.3	40.6	42.8
非製造業		27.6	41.1	49.2	43.5	49.2
雇用関連		37.0	44.0	54.2	53.1	54.0

表1-2 回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成21年12月	1.0%	6.2%	38.1%	32.9%	21.8%
平成22年3月	1.8%	9.6%	52.1%	27.0%	9.6%
平成22年6月	1.5%	19.0%	50.4%	20.4%	8.8%
平成22年9月	1.7%	15.8%	47.3%	25.7%	9.6%
平成22年12月	2.8%	19.2%	47.9%	20.6%	9.4%

図1-1 景気の現状判断DIの推移



(2)景気の先行き判断DI

3か月先の景気の先行き判断DIは43.7となった。9月調査分より2.5ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を13期連続で下回った。

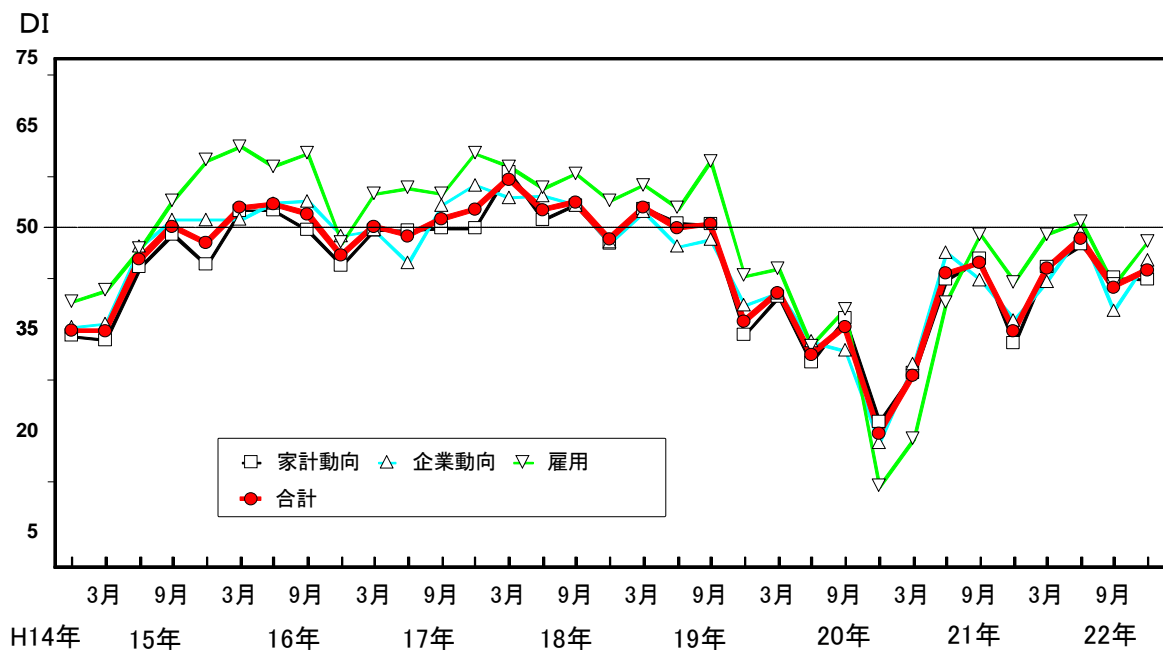
表1 - 3 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成21年	平成22年	平成22年	平成22年	平成22年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		34.8	44.0	48.4	41.2	43.7
家計動向関連		33.0	44.2	47.6	42.7	42.4
小売関連		34.5	43.3	48.1	39.4	43.8
飲食関連		27.5	47.5	51.4	47.5	41.7
サービス関連		30.8	43.4	45.3	43.1	40.4
住宅関連		52.8	50.0	55.6	55.6	50.0
企業動向関連		36.4	42.1	49.4	37.8	45.2
農林水産業		40.6	43.8	57.1	46.4	50.0
製造業		37.5	40.2	47.8	33.3	43.9
非製造業		33.6	44.4	50.0	42.7	46.0
雇用関連		42.0	49.0	51.0	41.7	48.0

表1 - 4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成21年12月	1.0%	6.2%	42.9%	30.4%	19.4%
平成22年3月	0.4%	12.1%	58.2%	22.0%	7.4%
平成22年6月	0.7%	19.3%	57.3%	18.2%	4.4%
平成22年9月	1.0%	7.5%	55.8%	26.4%	9.2%
平成22年12月	0.3%	13.3%	57.0%	19.6%	9.8%

図1 - 2 景気の先行き判断DIの推移



2 地域別の動向

(1)景気の現状判断DI

県北地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは50.4となった。9月調査分より7.9ポイント上昇し、横ばいを表す50を15期ぶりに上回った。

表2-1 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成21年	平成22年	平成22年	平成22年	平成22年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		39.0	40.2	46.1	42.5	50.4
	家計動向関連	37.5	39.4	45.0	37.8	48.6
	企業動向関連	44.4	40.3	44.4	47.2	52.8
	雇用関連	30.0	45.0	60.0	60.0	55.0

表2-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成21年 9月	0.0%	10.0%	40.0%	31.7%	18.3%
平成21年 12月	3.4%	10.2%	35.6%	40.7%	10.2%
平成22年 3月	3.6%	3.6%	53.6%	28.6%	10.7%
平成22年 6月	5.0%	13.3%	40.0%	30.0%	11.7%
平成22年 12月	5.2%	25.9%	43.1%	17.2%	8.6%

県央地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは44.2となった。9月調査分より2.1ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を14期連続で下回った。

表2-3 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成21年	平成22年	平成22年	平成22年	平成22年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		33.9	42.4	47.0	42.1	44.2
	家計動向関連	35.5	44.1	44.6	44.9	43.6
	企業動向関連	25.0	40.6	53.1	32.8	42.2
	雇用関連	50.0	35.0	45.0	50.0	55.0

表2-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成21年 12月	0.0%	6.8%	45.8%	23.7%	23.7%
平成22年 3月	1.7%	10.2%	50.8%	30.5%	6.8%
平成22年 6月	3.4%	20.7%	44.8%	22.4%	8.6%
平成22年 9月	0.0%	18.3%	45.0%	23.3%	13.3%
平成22年 12月	1.7%	18.3%	45.0%	25.0%	10.0%

鹿行地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは46.4となった。9月調査分より4.7ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を13期連続で下回った。

表2 - 5 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成21年	平成22年	平成22年	平成22年	平成22年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		28.1	38.4	45.5	41.7	46.4
家計動向関連		24.3	38.5	42.1	43.2	41.9
企業動向関連		38.3	35.9	50.0	36.7	57.1
雇用関連		25.0	45.0	55.0	45.0	50.0

表2 - 6 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成21年12月	0.0%	7.0%	28.1%	35.1%	29.8%
平成22年3月	0.0%	12.1%	44.8%	27.6%	15.5%
平成22年6月	0.0%	20.0%	50.9%	20.0%	9.1%
平成22年9月	0.0%	12.3%	54.4%	21.1%	12.3%
平成22年12月	1.8%	19.6%	55.4%	8.9%	14.3%

県南地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは48.2となった。9月調査分より0.5ポイント低下し、横ばいを表す50を13期連続で下回った。

表2 - 7 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成21年	平成22年	平成22年	平成22年	平成22年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		34.6	44.4	45.5	48.7	48.2
家計動向関連		33.6	39.8	42.5	49.3	49.2
企業動向関連		35.3	50.0	48.4	47.2	44.1
雇用関連		40.0	55.0	56.3	50.0	55.0

表2 - 8 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成21年12月	1.8%	5.3%	36.8%	42.1%	14.0%
平成22年3月	1.9%	7.4%	63.0%	22.2%	5.6%
平成22年6月	2.0%	12.0%	56.0%	26.0%	4.0%
平成22年9月	3.4%	19.0%	50.0%	24.1%	3.4%
平成22年12月	3.6%	18.2%	49.1%	25.5%	3.6%

県西地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは42.5となった。9月調査分より0.5ポイント低下し、横ばいを表す50を14期連続で下回った。

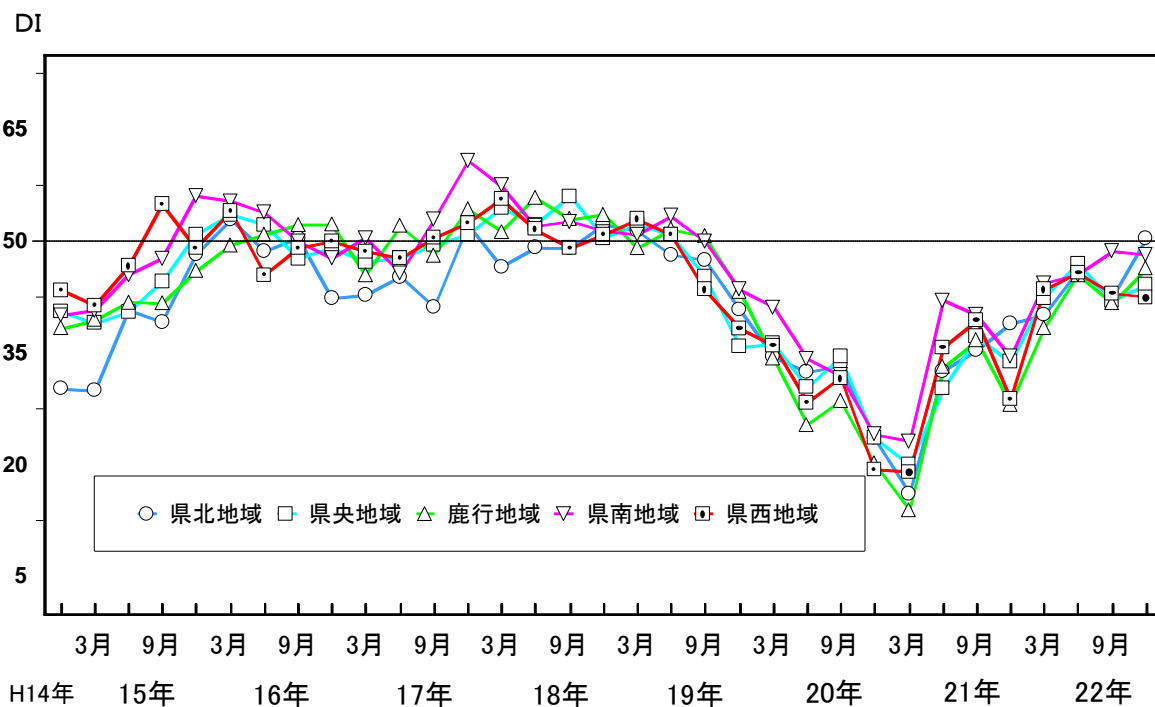
表2-9 景気の現状判断DI

分野	調査月				
	平成21年 12月	平成22年 3月	平成22年 6月	平成22年 9月	平成22年 12月
合計	28.9	43.6	45.8	43.0	42.5
家計動向関連	25.7	45.3	43.5	40.4	44.1
企業動向関連	32.4	41.7	47.1	43.4	36.1
雇用関連	40.0	40.0	55.0	62.5	55.0

表2-10 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成21年12月	0.0%	1.8%	43.9%	22.8%	31.6%
平成22年3月	1.8%	14.5%	49.1%	25.5%	9.1%
平成22年6月	0.0%	17.0%	56.6%	18.9%	7.5%
平成22年9月	0.0%	15.8%	47.4%	29.8%	7.0%
平成22年12月	1.8%	14.0%	47.4%	26.3%	10.5%

図2-1 地域別現状判断DIの推移



(2)景気の先行き判断DI

県北地域

3か月先の景気の先行き判断DIは40.9となった。9月調査分より0.1ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を13期連続で下回った。

表2-11 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成21年	平成22年	平成22年	平成22年	平成22年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		35.6	40.2	46.6	40.8	40.9
	家計動向関連	35.4	39.4	45.0	41.2	37.9
	企業動向関連	37.5	40.3	47.2	38.9	44.4
	雇用関連	30.0	45.0	55.0	45.0	50.0

表2-12 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成21年12月	1.7%	6.8%	39.0%	37.3%	15.3%
平成22年3月	0.0%	8.9%	53.6%	26.8%	10.7%
平成22年6月	1.7%	17.2%	51.7%	24.1%	5.2%
平成22年9月	3.3%	5.0%	50.0%	35.0%	6.7%
平成22年12月	0.0%	6.9%	60.3%	22.4%	10.3%

県央地域

3か月先の景気の先行き判断DIは45.4となった。9月調査分より5.0ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を14期連続で下回った。

表2-13 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成21年	平成22年	平成22年	平成22年	平成22年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		37.7	47.0	49.1	40.4	45.4
	家計動向関連	38.2	48.7	50.0	42.9	44.9
	企業動向関連	37.5	48.4	50.0	37.5	46.9
	雇用関連	35.0	30.0	40.0	30.0	45.0

表2-14 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成21年12月	1.7%	1.7%	55.9%	27.1%	13.6%
平成22年3月	0.0%	16.9%	59.3%	18.6%	5.1%
平成22年6月	0.0%	24.1%	55.2%	13.8%	6.9%
平成22年9月	0.0%	10.0%	55.0%	21.7%	13.3%
平成22年12月	0.0%	15.0%	60.0%	16.7%	8.3%

鹿行地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは41.1となった。9月調査分より0.1ポイント低下し、横ばいを表す50を13期連続で下回った。

表2 - 15 景気の先行き判断DI

調査月		平成21年	平成22年	平成22年	平成22年	平成22年
分野		12月	3月	6月	9月	12月
合	計	36.8	43.1	47.3	41.2	41.1
	家計動向関連	30.4	41.9	46.4	41.9	37.2
	企業動向関連	48.3	43.8	45.0	35.0	46.4
	雇用関連	50.0	50.0	60.0	55.0	55.0

表2 - 16 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成21年12月	0.0%	10.5%	45.6%	24.6%	19.3%
平成22年3月	0.0%	12.1%	58.6%	19.0%	10.3%
平成22年6月	0.0%	16.4%	61.8%	16.4%	5.5%
平成22年9月	0.0%	5.3%	64.9%	19.3%	10.5%
平成22年12月	0.0%	14.3%	48.2%	25.0%	12.5%

県南地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは47.7となった。9月調査分より3.3ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を13期連続で下回った。

表2 - 17 景気の先行き判断DI

調査月		平成21年	平成22年	平成22年	平成22年	平成22年
分野		12月	3月	6月	9月	12月
合	計	33.8	45.4	49.5	44.4	47.7
	家計動向関連	33.6	43.0	49.2	45.7	50.0
	企業動向関連	30.9	44.1	50.0	43.1	44.1
	雇用関連	45.0	65.0	50.0	40.0	45.0

表2 - 18 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成21年12月	1.8%	5.3%	38.6%	35.1%	19.3%
平成22年3月	1.9%	11.1%	61.1%	18.5%	7.4%
平成22年6月	2.0%	16.0%	62.0%	18.0%	2.0%
平成22年9月	1.7%	8.6%	58.6%	27.6%	3.4%
平成22年12月	1.8%	16.4%	60.0%	14.5%	7.3%

県西地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは43.4となった。9月調査分より4.4ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を2期連続で下回った。

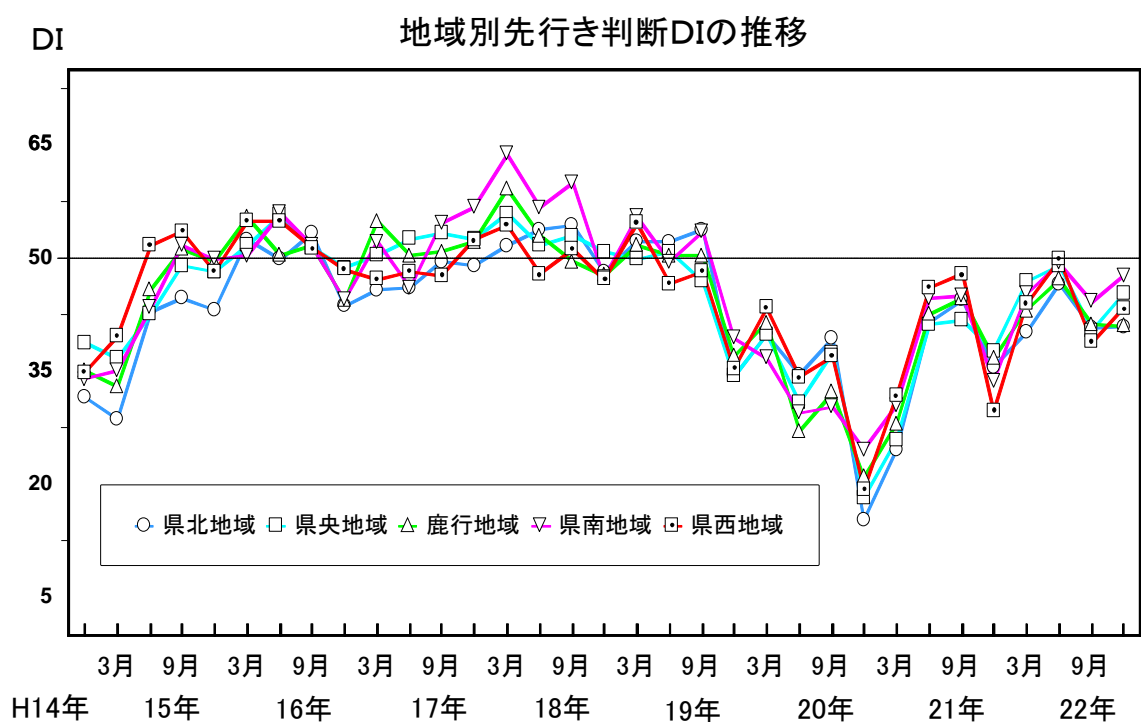
表2 - 19 景気の先行き判断DI

分野	調査月				
	平成21年 12月	平成22年 3月	平成22年 6月	平成22年 9月	平成22年 12月
合 計	29.8	44.1	50.0	39.0	43.4
家計動向関連	27.1	47.7	47.6	41.9	42.6
企業動向関連	29.4	34.7	54.4	34.2	44.4
雇用関連	50.0	55.0	50.0	37.5	45.0

表2 - 20 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成21年12月	0.0%	7.0%	35.1%	28.1%	29.8%
平成22年3月	0.0%	10.9%	58.2%	27.3%	3.6%
平成22年6月	0.0%	22.6%	56.6%	18.9%	1.9%
平成22年9月	0.0%	8.8%	50.9%	28.1%	12.3%
平成22年12月	0.0%	14.0%	56.1%	19.3%	10.5%

図2 - 2 地域別先行き判断DIの推移



3 回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全 県	300 人	286 人	95.3%
県北地域	60 人	58 人	96.7%
県央地域	60 人	60 人	100.0%
鹿行地域	60 人	56 人	93.3%
県南地域	60 人	55 人	91.7%
県西地域	60 人	57 人	95.0%

Ⅲ 景気の判断コメント — 1 景気の現状判断コメント

(1) 県北地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良くなっている	家計	観光型ホテル	9月が非常に悪かったため。
	企業	製造業（精密機器）	仕事が増えている。
		運輸業	貨物量が業種を問わず増えています。運送業は年末までは繁忙期なので現在の貨物量も想定した位だとは思っていましたが、運転員の他社への流出等、同業他社も貨物量が増え、人員を増やしている模様です。また、弊社も人員不足気味です。
やや良くなっている	家計	スーパー	美味しさ・価値が伝わるとお買い求めいただける状況がみられる。以前は何を投げかけても響かない状況（企画が悪かったかもしれませんが）で価格志向が強くて出ているが、顧客の1点単価の上昇から、そう判断できる。量は少ないが良い品は売れている。
		コンビニエンスストア	タバコの値上げにより単価が上昇している状況下であっても、食品の売上が伸びている。絶対支出が増加しており、全体的には消費が増えている。
		コンビニエンスストア	3ヶ月前に増税前で伸張したタバコを除いて考えると、当チェーンで主軸であるデイリー商品（弁当、おにぎり、惣菜など）の売上がエリア全体で大きく伸張しています。客数自体も伸張しており、タバコの販売数減による客数のマイナスが、その他商品を求めるお客様の増加によりプラスに転じているため。 →外で食事をする人が増えてきていると感じます。
		小売業（工具）	設備投資が若干増えている。
		金物・荒物・建築資材	少しだが売上受注が増加した。
		和食食堂	3ヶ月前と比較するとお客様が増えた。個々の客より2~4人と連れ立った客が多い。
		タクシー運転手	3ヶ月前より、1日平均の売上げが、2700円ほど良くなったため。
		ドライブイン	売上高が暑さの影響もあり、1ヶ月程伸び悩んだ時期があったが、去年のペースに戻り、昨対クリアできた。
		ボウリング場	お客様の話を聞いたところ。
	ゴルフ場	(1) 10~12月来場者は、7~9月時に比し+11ポイント（計画比も+11ポイント）。 (2) 12月の景気は、前年に比し（9月時点79%、12月時点84%）+5%向上している。 (3) 異常天候による影響で、（7~9月+298人、10~12月時+119人）少し減少している。 (4) フレー@は7~9月比して、10~12月は@の高い土・日來場者が増加している。	
	企業	林業関係者	今般、宮の郷に木材流通センターが開設されました。販売率・価格ともまずまずの成果に終わりました。
		製造業（一般機械器具）	製品の注文量が増加してきている。
		製造業（電気機械器具）	3ヶ月前に比べると現在の方が仕事量が増えているから。
製造業（電気機械器具）		わずかであるが、売上高が全体的に10年上期を上回っている。	
雇用	公共職業安定所	有効求人倍率は8月から0.5%台になり、指数は緩やかではあるが改善している。	
変わらない	家計	スーパー	客単価に変化がない。
		衣料品販売店	エコ関係商品にはぎわっているが、我々には関係ない。
		小売業（酒類）	たばこ値上げ後、数量（販売）減少、ワインは順調に販売されるが全体的に厳しい状況は変わらない。
		スナック	例年に比べて忘年会のお客様がほとんどいらっしやらない。
		観光型ホテル	国道6号線に面した食事処の来客数と客単価が下がっている。
		タクシー運転手	現状に変化はない。
		タクシー運転手	客の流れも、売上げもあまり変わらないから。
		ゴルフ場	例年、11月がトップシーズンになるためある程度の集客はできているが、プレー後のパーティを控える等、まだまだレジャーに消費する金額は増えてきているとは思えない。
		ゴルフ場	来場者数は前年比プラスの状況だが、利用単価がマイナスとなっている為「変わらない」とした。利用者数の増加は、消費マインドの表れとポジティブに解釈、今後に期待したい。
		理・美容店	固定客のみで変化が見られない。
	住宅販売会社	地元のグループ企業の動きが鈍い。	
企業	水産業関係者	水産にあつては、茨城の主たる漁業である大中型まき網漁業で鯖漁の大豊漁が続き、3ヶ月以前よりは良くなっていますが、小型船が3ヶ月前から以後、不漁で推移し、総体的には変わらない。	
企業	製造業（電気機械器具）	・会話の中で「景気が良くなった」という話が出ない。 ・下期の売上は上期の売上と比べると上昇傾向にあるが、社内努力による処が大なので、景気は変わらない。	
	製造業（電気機械器具）	出張、来客などに大きな変化がないため。	
	製造業（電気機械器具）	特に変化はない。3ヶ月前と仕事量は変わらない。	

	製造業（輸送用機械器具）	国内エコカー減税補助金の打切りに伴い国内向けは大幅に減少するも、中国・北米・欧州向け生産は依然計画を上回った要求が継続している。従って、作業量の上振れに伴いコストダウンの要求は更に厳しさを増している。	
	不動産業	各売り出し関連イベントの来場者はそこそこあるものの、購入意欲は上がっていないように見受けられる。（様子見の傾向あり）	
	雇用	運輸付帯サービス業	強いて変わらないと判断します。但し、受注量（売上高）が増して（+10%程度）いるにもかかわらず、利益がリンクして増加していない。すなわち、発注金額（単価）の下落傾向にあり、苦しい状況は変わらない。
		求人広告	企業の人事担当者を訪問してもマイナス要因の話が多い。現状維持で求人やPR広告も最小限度の対応をするしかないとの事。
学校就業関係者		学生の就職に関して、就職率も前回と変わらず、景気の兆しの見通しがみられず、平衡状態である。	
求人開拓員		当月の受注はあっても、継続して次月まで見込めないとの事。	
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	昨年の売上と比べても、なかなか売上が上がってこない。納入業者の話を開いても、茨城県の建築工事が少ない。
		自動車販売店	自動車の販売は、補助金制度が終了し新車がストップし、中古車が少しづつ動き出した。
		小売業（水産物）	売り上げが下がっている。
		小売業（靴製品）	商品を選択することに、より慎重になっている。
		観光型ホテル	前年同月と比較して日帰り宴会予約数はほぼ横ばいだが、客単価が下がっている。宿泊予約についても、食事コースのランクを下げるお客様が最近多くなっている。よって景気はやや悪くなっていると判断する。
		レジャー施設	客単価が減少傾向にあり、飲食物の持ち込みをする来園者が従来よりも目立っており、景気はやや悪くなっていると思われる。
悪くなっている	企業	製造業（電気機械器具）	受注環境が厳しい。
		建設業	建設投資が減る中で、競争はより激しくなっており、受注量・受注単価は低下している。関連業種も多いので、その影響は大きいと思う。
		情報通信業（情報サービス業）	商談が少なく競争が激しく、非常に厳しい状況が続いている。例年であれば期末に向けて商談が増える時期であるが、なかなか増えない。
		金融業	返済にかかる融資条件変更先の発生が少なくなっているものの、取引先の業況は依然として厳しく景気低迷の煽りを受け続けている様子がみられる。また、資金需要が弱い一方で、自己資金の取崩しが続いており預金の減少もみられる。
悪くなっている	家計	商店街代表者	消費マインドの低下（エコポイントの業界（家電、車）は潤っている）。物を買わなくなっている。可処分所得の低下と介護保険の支払い金額が年金生活者を打撃している。
		スーパー	来客数、売上が1割強減少。
		クリーニング店	客数・客単価共に減少している。
	企業	製造業（製缶）	重電機器自体の大手取引先の受注量減少により、当社を含めた同業他社も、作業量の減少・売上の減少が続いている。

(2) 県央地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	企業	製造業(精密機械器具)	OEM製品である臨床診断装置や工業用薬液濃度計の受注が増加した。	
やや良くなっている	家計	スーパー	客単価が維持しながら客数が増加している。	
		コンビニエンスストア	・商品の動きが活発になっている。 ・工事関係者の客数が増えている様に感じられる。	
		家電販売店	エコポイントの影響だと思いが駆け込み需要があった。	
		都市型ホテル	直近になって利用に関する電話も多くなり、消費動向が上向きに転じている。	
		タクシー運転手	年末に向けて企業のお客様より個人客が増えている。	
		ドライブイン	メニューの単価を値下げしたせいか、客数は増加している。その他にも客数を増やす対策の効果が感じられる。	
		ボウリング場	続いていた前年比ダウンがストップ。	
		建築設計事務所	納品の締め切り日が年末に集中する傾向にあり、全体的に忙しい状況。	
	企業	製造業(印刷・同関連業)	売上、経常利益がやや回復している。	
		塗装業	仕事が多く出ている。	
	雇用	公共職業安定所	有効求人が増加傾向にあり、逆に有効求職が徐々に減少している。 (有効求人 7月：4908、10月：6565) (有効求職 7月：10888、10月：10472)	
	変わらない	家計	商店街代表者	ほとんど変化がみられない。
			商店街代表者	商店街の人通りも少なく、来店客も少なく、悪いまま変わらない。
百貨店、総合スーパー			3ヶ月前と比較すると、売上高・来店客数ともに前年比での変化が見られないことから、景気も変わらないと判断した。	
百貨店、総合スーパー			一部のお客様にはまとめ買いや衝動買いの様子がみられる様になったが、まだまだ慎重にお買い物をする方が多い。	
専門スーパー			3ヶ月前とは特に変わらないため。	
専門スーパー			建築資材関係の動向は、相変わらず鈍い。特にまとめ買いが少なく、使うだけの購入が主である。農業関係においても、本年の収穫の価格の低下などもあり厳しいようである。	
レストラン			外食の低価格化は変わらず、客単価の低下も歯止めがかからない。	
レストラン			忘年会の季節になっていますが、昨年と比べても同件数・同売上の現状となっている為です。	
タクシー運転手			売上げも変わらず、お客様からもいい話を聞かない。	
タクシー運転手			タクシー利用のお客様の数もあまり変化がない。	
観光名所			来館者で見ると、7月以降昨年の10%減程度で推移している。3ヶ月前も今月も同様。	
カラオケ店			良くも悪くも変化を感じられないため。	
レジャー施設			ボート、ヨットの保管隻数もこれまでと変わらない。	
レジャー施設			入場者も微増ではあるが伸びてきているので、やや良くなっている印象はあるが、良くなっているとはまでは言えない。	
理・美容店			12月という事で、本来なら忙しくても良いはずだが、ここ数年そういう傾向がなくなってきた。年明けに来店するお客様も多くなって来ている。	
住宅販売会社		夏頃は多少良くなってきたが、秋以降はやや落ち着き始めた。		
企業		製造業(金属製品)	昨年あたりと比較すればだいぶ良くなっているが、3ヶ月前と比較すると仕事量・単価共に大きな変化はなく、横ばいです。	
		製造業(一般機械器具)	3ヶ月前よりやや良くなっていると回答しておりました。そこから変わらないと言うことですが、今月(11月)までは。	
		運輸業(道路貨物運送業)	12月に入り貨物は活発に動いているようであるが、通常の動きが少し厚くなった程度と思われる。	
		情報通信業(情報サービス業)	相変わらず景況感は悪い。市場における商談機会が減少しているところに加え、同業者間の競争激化により利鞘の確保が難しい。他業種顧客からも同様の悩みは出ており、好況を得ているのは、一部の企業に限られていると強く感じる。	
	金融業	3ヶ月前の9月と比較すると、季節的な要因から全体的な景気はやや上向きであると思われる。年末年始に向けての資金の移動はあるものの、資金需要は依然として弱いことから、先行きの景気については、変わらないと思われる。		
	不動産業	来客数、成約数共に大きな変化がない。		

	サービス業（コンサルタント業）	取引先の小売り店や飲食店の前年同月比を比較すると、3ヶ月前と変わらないところが多い。クリスマスケーキやおせち、忘年会などの季節商品の予約状況も例年並が多い。
	人材派遣業	短期の増員はあるものの、減員もあるので売上の的には変わらない。
	求人広告	景気改善の要素が見当たらない。経費削減など今まで以上の企業努力が必要と感じている人事担当者がまだまだ多い。
雇用	学校就業関係者	年末に入り、デパートの食品売り場以外にも、お客さんの姿が目立つようになりましたが、やはり年末ということであって、景気が好転して購買力がついてきたからではないと思うからです。青物野菜の値段が上がり、お店からは買い控え、知り合いの農家に頼る等、消費者防衛を始めております。
	スーパー	客単価は引き続き低迷、セール品の動きはいい。
	スーパー	お客様1人当たりのお買い上げ金額が減少している。
やや悪くなっている	自動車販売店	車の購入補助金政策が終了してから、市場の落ち込みが続いております。受注の先取りが多く発生したため、年内の市場はまだ前年に比べ落ち込みがあると思います。
	農産物直売所	週末イベントへの来場するお客様が平年と同じ数だが、無料イベント・格安イベントにはお客様が集中する一方、通常販売ブースへは平年と比べると来客が減少。必要外の物は買わない傾向が強いと感ずる。
	レストラン	忘年会シーズンではあるが、予約状況が昨年より同時期で少ない状況。客単価も下がっている。また、家族での外食、特に夕食の動きが鈍い状況です。
	割烹料理店	ここ3ヶ月どころか1年前から不景気が続いています。食品関係はますます悪くなっています。
	都市型ホテル	忘・新年会の時期となっているが、予約状況は昨年より若干悪くなり、例年行っている所も取りやめする業界もある。
	観光型ホテル	11月以降、対前年で弱含み。地方及び中小企業の業績が改善されないと、消費活動が活発にならない。
	旅行代理店	団体旅行の受注が不振。年末年始の旅行需要がやや低迷。
	タクシー運転手	最近時間帯により客数に波があり、日中は減少。夜も遅くなって多少動きがあるくらいである。
	ゴルフ場	来場者数並びにプレー等に係る客単価の減少が顕著である。
	理・美容店	病院に入院していましたが、通院のためにまだ行っています。平日にデパートなどより、見ていましたが、お客様が買っている様子はあまり見当たりません。私の店も2ヶ月位休みに入っているの、今のところ当店は収入0円です。
	企業	農業関係者
製造業(食料品)		店舗の売上が前年対比で減少しており、それに伴い生産調整している。
サービス業（広告業）		飲食店の客入りが、非常に悪い。雑誌広告や求人広告において、お得意様であるために、版元にとって厳しい受注状況となっている。
悪くなっている	スーパー	日本酒の1.80 びんが、2,500円台以上が売れなくなった。また、スナックのウイスキーの注文が、響や山崎、バランタインなど、5,000円以上のものがなくなってきた。
	コンビニエンスストア	悪くなっていると思います。消費の動向がタバコの値上げにより、買い上げ点数が落ちている。
	ドライブイン	季節・天候などにも左右されますし、毎年の事ではありますが、花のない季節はどうしても通過地点となってしまう、お客様が大変少なく厳しい状況であります。
企業	製造業(食料品)	イベント等の即売を実施しても客数の割に購買者が少ない。
	製造業（印刷・同関連業）	受注が減少している為。
	製造業（窯業・土石製品）	受注量が減少している。

(3) 鹿行地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	日本料理店	単価が高めのが多くなった。
やや良くなっている	家計	スーパー	・仕事、アルバイトの希望が多くなっている。仕事口が無い感じ。 ・割引の商品を前もって調べて、それだけに限る。他の商品にはなかなか手を出して頂けない。
		観光型ホテル	予約が少し増えている。
		住宅販売会社	来店数が伸びている。住宅建築に関心がある層が動き始めたようだ。
	企業	農業関係者	葉物野菜の消費が上昇している。卸値も安定している。
		製造業（食料品）	客数が前年度に比べ、1割程落ち込みが11月半ばまで続き、イベント等を増やしても前年に同等の結果で厳しさは続いている。売価を変えず、商品のグレードを上げ購買意欲を上げている。原価の心配はありますが、まずは集客を上げやや実績を伸ばしている。
		製造業（化学工業）	業績が回復しだし、経費削減等の効果が見られてきた。賞与のアップへも繋がった。
		建設業	私は建築住宅関係の仕事、住宅資材販売をしています。住宅エコポイント、ガラスの販売、住宅着工も12月に入ってから多くなっています。
		サービス業	受注・引合件数の増加が認められる。特に自動車産業からの受注・引合が増加している。
	雇用	人材派遣業	全体的に見ればやや良くなってきたような雰囲気であるが、予断は許さない状況と見る。厳しめで見ますと、以前と大きく変化は無いのではとの見方も出来る。とりわけ化学コンビナートでは少し引き合いも出（人材派遣での要請）しており、期待度も込めてやや良くなっているとしました。また、自動車・電機のエコポイントの駆け込み需要もあり鉄鋼は好調の模様。
		公共職業安定所	「管内労働市場（10月）」の（6）の有効求人倍率の通り。（本年10月 0.55、前年10月 0.46）
変わらない	家計	商店街代表者	同時情報化社会の中に在って、地方、都市共にあらゆる産業に互って売競争を続けてきた結果、先細り経済の埒場に陥り消費力である購買力が低迷し、賃金の安い発展途上国へ好景気が移行しております。それが雇用の低下に繋がる産業の空洞化、外国移転の為、賃金の頭打ちの状況にあると思われれます。
		商店街代表者	商業、サービス業、建設業など、ほとんどの業種で廃業が見られ、先行きの明るさが見えない。
		スーパー	客単価、変わらず横ばい状況。青果相場上昇しているが、全体的に一品単価は変わらない。競争による値下げ効果で売上は維持している状況です。
		コンビニエンスストア	賃金アップや雇用情勢など景気アップに繋がるような対策がない限りで変化はないと感じます。客単価がととも悪く、特に買い上げ点数は昨年・一昨年と比較すれば、落ちる一方となっています。
		コンビニエンスストア	客数は横ばいで、かつお客様の購買意識に大小の開きが大きくなっており、トータルとしてプラスになっていない為。
		家電販売店	業界的に家電エコポイントによって売上が底上げされているが、他の部分を見ると景気が良くなっているとは思えない。
		農産物直売所	来店者・客単価もそれほど変化なし。
		小売業（菓子販売店）	9月の売上げも12月の売上げ（15日まで）も前年と変わらない。
		小売業（酒類）	売上高の前年比が、3ヶ月前と今月を比べるとほぼ同じ。
		小売業（金物店）	経済の景気が変わっていないため。
		小売業（書店）	今月は3ヶ月前の売上前年と比較して伸び率は一緒、例年通りの売上。
		衣料品販売店	客数またお買上げ単価が伸びない。業種によって違うと思うが、衣料業界では厳しい状態が続いている。
		タクシー運転手	売り上げが同じぐらい。
		タクシー運転手	営業回数や売り上げは以前と変わらない。
		弁当・惣菜店	茨城県の中小企業は相変わらず、景気の状態はあまり良くない状態が続いていると思う。
		ゴルフ場	予約状況や客単価が横ばいで推移していた。
		理・美容店	3ヶ月前と比較してみて、景気はそれほど変わっていない。
		クリーニング店	今年の夏は暑かったので、野菜の生育が悪かった。秋の収穫の量が少なかったため、値段は例年より高かったようです。しかし、米の値段が安かったようです。天候も悪かったので、仕事ははかどらなかったようです。
		室内装飾業	売上も落ちるところまで落ちてしまったのでこれ以上落ちる心配もなくなった。
	住宅販売会社	住宅取得をされる方のお話を聞いても、相変わらず景気は良くないと話す方が多い。実際に資金計画が難しい方も前と同じく多い。	

企業	製造業（食料品）	人、モノ、金の動きが悪い。	
	製造業（化学工業）	アジア市場が引き続き好調を維持しており、出荷量、価格とも維持できている。	
	製造業（鉄鋼業）	設備稼働率はほぼフル生産となってきた。土木・建材分野でやや苦戦している。	
	運輸業（道路貨物運送業）	上半期に入庫した在庫が順調に出庫して、一巡した。ただ在庫のスリム化は続いている。	
	運輸業（道路貨物運送業）	年末に期待していましたが、変化なしです。	
	金融業	返済額軽減等の条件変更の申込みについては一段落し、落ち着いてきている状況。	
	保険業	悪いまま変わらない。	
	不動産業	低価格家賃の賃貸物件を探しているお客様が多くみられる。また、土地購入のお客様も弊社地域が区域指定地内になった為需要があるが、価格は横ばいである。	
雇用	民間職業紹介業	求人企業数は相変わらず増えてこない。求職者も年配者・新卒者が増えているもののなかなかマッチングするまでには至っていない現状である。	
	学校就職関係者	離職者対象の講座の応募が多い。求人数の減少。	
やや悪くなっている	家計	洋食食堂	秋口に、続けて大型の飲食店（回転寿司、お好み焼き）がオープンして、特に夜の来店客数が落ち込んだ。
		タクシー運転手	全体的に客が少ない。良い時に比べると半分である。チケットの客が少ない。
		ドライブイン	目立った経済活動の動きがないため。
		理・美容店	どうしても年末に向けての来店サイクルをお客様が調整してしまうので、この時期は少し来客数が減少しますが、いつもより来客数は少なくなっている。
企業	製造業（印刷・同関連業）	客先での話で皆その様に言っている。	
悪くなっている	家計	自動車販売店	前年度に比べて、仕事が減少しているから。
		小売業（薬品店）	地元企業の業績はまずまずなのに、社員の所得は上がっていないとの、お客様の声が多い。
		割烹料理店	例年、9月・10月・11月は客足が伸びないが、それにしても、今年は売上げが最低を記録した。今月は時期的には忙しいが、思ったほどではない。
		パチンコ店	お客様の人数が少なくなった為。
	雇用	求人開拓員	10月以降の求人について特徴的な傾向として、ハローワークの正社員募集の求人の殆どがトライアル併用・若年者等特別奨励金併用となっている。製造業では従業員数が20～30人程度の中小企業。福祉関係では特養老人ホーム等の介護施設等。助成金頼みの綱渡りの経営の実態が想像される。大企業及び力のある施設等のみが景気の恩恵を受けていると判断される。

(4) 県南地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良くなっている	家計	家電販売店	エコポイント。
	企業	建設業	年末、取引先の経営者5社とお会いする(県南地区) 2社~5社一来春も業績大と見る。 ・製造業1社-11/29お会いし、12月は全然受注がない、1・2月どうしようかと。(120人社員) 人員整理しない ・製造業2社-10年ぶりの売上倍増、利益20%上。ロシア・ヨーロッパ・中国輸出好調。250人社員、増改築多数有 ・製造業3社-1月~10月迄95人新規採用する、中国・アジア・インドネシア輸出絶好調。160人社員(インドネシアにて360人採用) ・研究所4社-1年後の売上見込んで大規模投資50億円22年3月開始~24年3月迄一売上横這、利益薄い(220人社員) ・製造業5社-和風割烹(土日) 50人~120人大入り。1年通して法事・御祝満席一人気抜群(10人社員)
やや良くなっている	家計	スーパー	野菜の高騰により、売上前年比も大幅に伸びているが、それ以外の部門の前年比も伸びがあるので、3ヶ月前よりやや景気が良くなっていると考える。
		スーパー	今月の前年比と3ヶ月前の前年比を比べると、今月の前年比の伸び率の方が良くなっている。
		スーパー	前年比と比較して客数は増加傾向にあり、売上も伸びている。
		スーパー	客数が同月比で102%位伸びている。
		コンビニエンスストア	昨年同時期と比べ、商品単価は高くなっています。安い物ばかりを買うのではなく、欲しい物にはお金を出す人が増えているように思えます。
		専門スーパー	3ヶ月前に比べ、来店客数が増えてきている。また、1人当たりの買上げ点数も伸びている。企業のボーナスの支給額が前年を上回っているのも要因の一つかもしれない。
		ゴルフ場	多少季節的な部分もあるが、ゴルフ場来場者が昨年に比べて増加した。大型のコンペも若干増えてきた。
	企業	建設業	民間の仕事がそれなりに結構出てきている。年末のせいもあるが、周りを見てもみんな忙しそうだ。ペンキ屋さんや左官屋さんに工事依頼したが、すぐ現場に入ってくれない。今までは2・3日後にすぐ入ってくれた。
	雇用	求人広告	つくば及びTX沿線の開発が進んでいる。
		公共職業安定所	3ヶ月前と比較した新規求人数の増減率は15.5% (前年増減率12.1%) また、新規求職者数の増減率は18.4% (前年増減率5.8%) 昨年と比べると期間工、派遣業の求人が回復したことにより主力産業等における製造業等の求人増が見られた。また求人が増加してきたことに伴って求職者数も増加してきたことから、労働市場がやや緩和されてきたように見受けられる。
変わらない	家計	商店街代表者	地デジなど、エコポイント付加商品に消費傾向が大きく、大型量販店以外での街中商業施設では、身の回り品などの他に購買余裕が見られく反面マイナスに感じられる。
		スーパー	単価が下がっている分、点数が伸びた。
		コンビニエンスストア	お客様の動向を確認する上で、客単価・買上点数に大きな変化が見られていない為。
		自動車販売店	補助金が9/7でなくなって以来、悪いままで。
		洋食食堂	相変わらず人通りが少なく常連の客に頼るのが現状である。
		洋食食堂	ディナーの予約が変わらず少ない。
		都市型ホテル	宴会・レストランどちらにおいても予約時の客単価が変わっていない。
		タクシー運転手	TX各駅の売上げが、一向に上がらない。
		旅行代理店	この3ヶ月、販売額は前年比ほぼ変わらずの状況で推移している。
		タクシー運転手	固定客の確保は現状維持しているが、新規の客が伸びない。
		ゴルフ場	平均数は年末ゴルフ等で多くなっているが、逆に料金には尚シビアになっている。
		理・美容店	景気対策への期待が薄れ、今は年末の一般消費の向上への期待感へ移り、年末を乗り越えようとしている。
		理・美容店	・今現在での大きな動きはないです。 ・来店ペースは少しずつ変わりつつある。 ・今前来店のお客様が安売りから戻ってきている。
	住宅販売会社	前回の回復基調がそのまま継続している。特に大きな変化は見られない。	
変わらない	農業関係者	農産物の価格は、米が下落し野菜が高くなったが量は少なく、販売高は減少している。円高が資材代に反映する事もなく、良い条件が無い。預金金利も下がって来ていて、運用する術も見当たらず硬直している状況。	
	製造業(食料品)	無駄な出費を抑えている状態で変わらない。	
	製造業(飲料)	タクシードライバーの話では、人の動きがない(変わっていない)。	

企業	製造業（窯業・土石製品）	例年では年末を控えて受注が増えてくるが、増えてこない。	
	製造業（一般機械器具）	期間社員に対する休業措置を引き続き行っているため。	
	建設業（設備工事業）	造成地があり、材料の動きに大きな変化はなかった。	
	運輸業（倉庫業）	前年と比較すると入庫数、出庫数も横這いであり、全体的に伸びていない。同一製品で競合他社が多いため、生産調整を行っている。	
	金融業	売上などは横ばいかやや減少している状況。金融円滑化の伴う返済額の軽減も一巡した感じを受ける。	
雇用	不動産業	県南の当社エリア10店舗の平均的な状況としては、大中には変わらず業界全体としてはやや悪くなっていると思う。業界内の会社間格差が広がってきている。	
	人材派遣業	年度末ということもあり、全体的に落ち着き気味である。	
	学校就職関係者	10月開始の介護関連の応募者数と、現在応募中の1月開始の同訓練で比較すると、あまり変化はない。20名定員のところ、前者は26名の応募。後者は現在33名である。	
やや悪くなっている	家計	ガソリンスタンド	だんだん悪くなっている。サービスの原点であるものが崩れている。
		寿司店	前はお客様の動向がある程度予測できたのですが、週末・月末・大安吉日とか仕事から。最近はまだくつかめません。
		都市型ホテル	単価が下がり、売上減に繋がっている。プラン3種類あっても、一番リーズナブルなプランに流れていた。今までやってきたところも、減収で開催を見合せ所もあった。
		タクシー運転手	回復の兆候とも受け取れる内容の会話も極一部。減給や人員削減等におののく厳しい実態がある。生活の不安は拭いきれていない現状と思う。
		タクシー運転手	売り上げが8%程低下。
		ゲームセンター	9月～11月は競合店舗がリニューアルのため閉店したので売上が上がりましたが、12月に入ってから売上・入客ともに減少してきているため。（競合店舗がリニューアルオープンしていない状況で）
		レジャー施設	来場者が減少しています。また、天気の悪循環も影響している為。
企業	製造業（家具・装備品）	過去になく売上が落ちている。昨年度より。	
	製造業（食料品）	御来店のお客様が少なくなっている。	
	製造業（印刷業）	来客数の減少が見られる為。	
	製造業（窯業・土石製品）	車の販売の落ち込み。	
	製造業（非鉄金属）	受注量は、3ヶ月前と比較して然程変化はないが、9月以降の主力メーカーのコストダウン要請から1個当たりの単価が低下しており、収益面では厳しい状況になってきた。	
雇用	求人開拓員	①製造業（金属加工）の求人が急激に減少した。 ②通年にて、食料品製造、サービス（ギフト関係）運輸配送（ギフト）が増加する時期ですが、減少している。	
悪くなっている	家計	建築設計事務所	数少ない仕事量が、更に悪くなっている。
	企業	建設業（設備工事業）	成約件数、ボリュームも減っている。

(5) 県西地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	家計	家電販売店	家電エコポイントによる満額還元が11月末日に変更となり、駆け込み需要となりました。液晶パネルは前年の8倍の台数が売れました。冷・暖エアコン前年の5倍、冷蔵庫も5倍の状況！！	
やや良くなっている	家計	スーパー	売上前年対比が11月度に対して2～3%アップしている。	
		コンビニエンスストア	9月のタバコ増税による特別需要以降、10月には反動で売上は下がったものの、10月・11月と客数は増えており、外で買い物をされる人が増えている実感がある。タバコ以外の商品の売上は昨年を上回っており、景気は良くなっていると判断する。	
		専門スーパー	・同用途商品において1ランク上の商品に興味を持たれるお客様が増加傾向にある為。 ・客数は減少傾向にあるが客単価が土・日等は微増傾向にある。	
		ドライブイン	去年の同時期に比べ、観光バスでの旅行が多く、前年より客単価も伸びた。	
		住宅販売会社	エコポイントや低金利の影響で、多少上向き傾向になってきた。	
	企業	製造業（食料品）	売上げについては若干ですが増加傾向にあります。また、年末用製品のアルバイトを採用する求人、人が集まりにくくなっています。	
	雇用	学校就職関係者	企業によっては、定年退職する従業員に代わる新入社員を募集するところも出てきた。そのため、景気はやや良くなっていると感じる。	
		就職相談員	新規求職者が減り、新規求人件数が増えている。	
	変わらない	家計	スーパー	客単価・実績、前年比ともほぼ横ばいの状況。
			コンビニエンスストア	直近にて客単価の回復傾向は見られるものの、買っている点数については減少傾向が止まらず、結局の所、価値あるものであれば多少の値段の物は買うが余計な物は買わない。お客様も賢くなっており、節約志向は続いている状況。
自動車販売店			変わらない。一部エコポイント等で忙しい業界もありますが、全体的には景気の回復は見込まれず、つつましい状況で変わらないと思います。	
農産物直売所			商品の売価に敏感なため、少し高くなると買い控えとなる。特に嗜好品については、その傾向が強い。	
ガソリンスタンド			特に変化は感じない。	
和食食堂			売上げ、来客数共にほぼ横ばい。	
和食食堂			忘年会シーズンで予約はあるが、来客数・単価ともに減少傾向にあり、（9月と）変わりがないと思う。	
鰻屋			お客様の顔ぶれが変わらない。良くなる時は新しいお客様が増える（多少）と思います。	
タクシー運転手			朝の通勤時間と、遅くなってからの一時以外は、待ち時間が1～2時間になる。	
タクシー運転手			3ヶ月間売上に変化がない。	
タクシー運転手			現在タクシー業界の現状は厳しいから。	
ドライブイン			来客数、客単価とも大きな変化はなく、決して良くなっているとは言えない。	
ゴルフ場			予約の状況にて。	
ゴルフ場		「料金の高い土日祝の予約が伸び悩み、反面、シニア・女性の来場が顕著な平日は好調」という状況は相変わらず、予約の推移も変わらず、である。		
ゲームセンター		変化は感じない。強いて挙げるとすれば、景気の悪い話を聞く事が減った程度。		
理・美容店		来店回数もそんなに変わらない。パーマとかカラーリングの客数は増加している。この状態が続けば景気回復の傾向とみられる。		
企業		農業関係者	米の単価も下がり、収量も少ないし品質も良くない。農業収入も減ってしまっているのが3ヶ月前と変わらない。	
		農業関係者	・秋野菜の価格は例年に比較して高値で推移している。各業者（資材代）の支払いは年末支払いが普通であるが、出荷量が少なく、販売代金は前年よりやや良い程度である。 ・会社関係のボーナス支給も少ないようので来客数は前年と同様であるので、変化はないと思われる。	
		製造業（食料品）	自社の売上も同様だが、どの取引先に聞いても売上が伸びている会社が見当たらない。また、仕事が多少増えた様に見えても、単価が低く抑えられ売上増に結び付かない。	
	製造業（印刷・同関連業）	印刷業の売り上げが最盛期に比して30パーセントぐらい落ちてきているらしく、今後も回復が見込めないというらしい。		
	製造業（一般機械器具）	親会社によっては年末冬期手当を出すのか。11月の売上が10月より悪くなっている様に思う。自動車関係の親会社はエコカーの為か、前期の売上は良かった話です。後期がどうなのか。		
	運輸業（道路貨物運送業）	取引先の増減がないため。		

やや悪くなっている	金融業	底を脱した感はあるが依然として厳しい状況が続いている。金融円滑化法による条件変更は一段落した感はあるが予断を許さない状況が続いている。消費マインドの低下から消費状況の悪化が慢性的に定着しており、地方産業への具体的な施策が急務と思慮します。
	雇用	人材派遣業 仕事が増えたり減ったり、変化が激しい。今までよりは少しはいいかと思いますが。
	求人広告	厳しい現状が続いている。
やや悪くなっている	家計	商店街代表者 11月の販売実績は前年比102%、客数100%、しかし商品単価は94%と、数字を見ても安価な品に流れていく傾向は今月になってもますますその感はある。
	時計販売店	3ヶ月前の前年同月比と比べて、売上げ・客数ともに減少している。
	都市型ホテル	年末でもあるにもかかわらず、予約状況・お客様の利用単価が悪化している。よりよい商品を提供しても、価格が高いと利用してくれない。
	ビジネスホテル	①工業団地からの企業の撤退、生産縮小など厳しい状態が続いている。 ②設備投資、新規開店などの動きも少ない。
	タクシー運転手	買い物客の数が減っている。余計な物は買わないように思われる！
	レジャー施設	景気の不安定による、消費控えが続いている感じがある。
	理・美容店	近くの工業団地でも、閉鎖になった会社が増えている。そうなると当店も少なからず影響している。
	建築設計事務所	引き合いが来ている物件がなかなか決まらない。客側が今の状況の中で決めかねているようだ。
	企業	製造業（窯業・土石製品） 一般的ですが不景気が浸透しており、我々の仕事に関してはどうしても作らねばならない人だけに限られている現状ですので、かなり減少しております。
	製造業（金属製品）	発注量・発注件数・発注コスト共に下降している感があり、不安感がある。
建設業	公共工事の削減・景気の低迷・地域に元気のある企業がない為、設備投資もない。	
不動産業	賃貸市場において希望価格が下落している。	
サービス業（コンサルタント業）	最近、建設業者の倒産が聞こえてくるようになったこと、あそこは危ないという声も聞こえ始めた。	
雇用	公共職業安定所 リーマンショック前の70～80%回復している中小企業が多い。稼動に必要な最低限の従業員数でやりくりしている現状であり、新規雇用までの余裕はない。	
悪くなっている	家計	商店街代表者 来店客数のますますの減少。市街地への買物客等の極端な減少。
	旅行代理店	野菜が高い。白菜・大根など1/4カット品で売られている。150円くらいする。昨年の倍値である。仕事も少ない。困ったものです。
	クリーニング店	お金を出し渋っている気がします。
	企業	製造業（化学工業） 半導体関連は在庫調整が続き、受注が落ち込んでいる。
	製造業（窯業・土石製品）	毎日毎日得意先へ「発注のお願い」を電話にてしているのですが、逆に「うちの方で注文・仕事がほしい」と言われることが最近多く、また、夕方6時以降の仕事に関する電話がほとんど無くなっています。

Ⅲ 景気の判断コメント — 2 景気の先行き判断コメント

(1) 県北地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	—	—	—
やや良くなっている	家計	スーパー	お客様のお話では暗い話題は少なくなった。意識して明るい話題を求めているかもしれませんが、表情は明るいと思います。イベントや企画に対するの興味は以前より強く、アンケートなどの「お客様の声」は増加している。こだわり商品なども売れ行きは増加傾向。
		自動車販売店	例年この時期は新卒者による需要が増え、年間の中でも販売台数が最も伸びる時期である。
	企業	製造業（一般機械器具）	注文量の増加により、仕事量の増加を見込んだ生産計画を立てている。
		運輸業	円高の影響により、輸入貨物の荷扱い見積の依頼が増えている為。
変わらない	家計	商店街代表者	年度末を迎えて、受注工事が思ったほど増えない。
		コンビニエンスストア	ボーナスの支給額も大きな変動が無いと報道されており、政局が不安定な状況であり、消費が増加する期待感は弱い。
		衣料品販売店	・エコで動いたお金が回ってくるのは半年後、先のことでしょう。 ・最低の状況はまだまだ続くでしょう。
		小売業（工具）	円高の影響で設備投資が慎重になると思われる。
		小売業（酒類）	回転の速いたばこ・ビール等が減少の為、売り上げ増に期待できない。
		小売業（水産物）	この1年間のデータで見ると、売り上げが下り坂のためそう予想した。
		スナック	お店に来て下さるお客様のお1人の回数は変わらないと思うから。
		和食食堂	客単価は増えないと思うし、余分な食費は使わないと思います。
		タクシー運転手	この先3ヶ月は、お正月連休等がくるため、売上げはやや悪くなるのですが、地元企業にて多少仕事が忙しいと聞いているため、プラスマイナスゼロとなり、変わらないのではないかと思います。
		タクシー運転手	先行きの状況が把握できない。
		タクシー運転手	政治が変わらなければ何も変わらないのでは？
		ドライブイン	まだ景気回復とは言い切れず、土産品の売上は落ち続けている。土産品にこだわらず、利用者のニーズに合った商品で伸ばしたい。
		ボウリング場	一時的に良くなっても変わらない。
		レジャー施設	良くなる材料が見当たらない。
		ゴルフ場	今後3ヶ月の予約進捗を前年同月比と比較すると「前年並み」となっている。前年同月時の経済状態は現在と比較しても必ずしも良くなかったことを踏まえると景気は依然として低迷状態にあると言える。
	理・美容店	時期的要因で若干の来客増は見込めるものの、例年のことである。	
	住宅販売会社	相変わらず政権政党がだらしない。もっと景気回復に本腰を入れてもらわなければ、良くなる兆しが出てこない。	
	企業	林業関係者	木材価格については輸入の動向にかかわると、住宅着工件数などの動きにある。
		水産業関係者	小型船の動向に左右されますが、まき網船にあっては資源量が多く大漁が期待されますが、小型船は不漁の状態が続くと思われます。この為、茨城全体では、3ヶ月前と同様の状態になると思われます。
		製造業（電気機械器具）	現在とほぼ横這いの仕事量であると推測出来るから。
		製造業（電気機械器具）	今後の利益率の上昇は見込めないため。
		製造業（電気機械器具）	好転する材料がない。
		製造業（電気機械器具）	エコカー補助金、家電品は少し悪くなるかも知れないが、当社の製品はあまり変わらない。依然厳しいです。
		製造業（電気機械器具）	国内需要はまだまだ少ないので、伸びる要因が見えない。
		建設業	現状のような状況はこの先も続くと思われるので、3ヶ月先はさほど変わりないと思う。
		情報通信業（情報サービス業）	良くなる要因が見当たらない。
	雇用	運輸附帯サービス業	公共事業投資の予算下落と、購買・消費の停滞が依然として強く感じる。大手企業の人余り対策として、仕事の内製化で発注量の減少が考えられる。
求人広告		年末年始の一時的な事業は増えたが、今後の回復は見込めないと思う。利益増加で人材を増やすまでにはまだまだ期待は持てない。	
公共職業安定所		新規求職者数は減少傾向にあり、新規求人数は増加傾向にある。また、有効求人倍率は、8月から0.5%台になり改善のペースは緩やかである。しかし、円高やエコポイント制度が3月で終了することから、先行き不透明感があり、改善のペースが弱まると思われる。	
学校就業関係者		就職先もいぜんと同じで悪いままである。3ヶ月後も変わらないと思う。	
求人開拓員		生産が追いつかない状態でも、人の採用までは控えている経営者が多くみられる。	

やや悪くなっている	家計	スーパー	まとめ買いが少なくなっているように思えます。安くても、余分には買わない。
		コンビニエンスストア	家電エコポイントやエコカー減税の支払いの一つであるボーナス払いの引き落としが、12月・1月で昨年よりも多く発生する中、ボーナス支給額も良いとは言えないので、食事にかかるお金でさえ減ってくると思います。タバコ増税による影響も全体的な単価を下げる要因になると思います。
		金物・荒物・建築資材	先の見積もり物件が無い。
		小売業（靴製品）	家計の出費を抑えることを考えている主婦（夫）が多い。
		観光型ホテル	まだまだ景気の先行きが不確かで消費につながらない気がする。
		観光型ホテル	今月が忘年会の時期でもあり、期待ができそうだから。
		観光型ホテル	宿泊予約で団体予約が減少している。個人予約の割合が高くなると、売上は一般的に悪くなるので、今後3ヶ月先の景気はやや悪くなっていると判断する。
		旅行代理店	駅前にある大型ショッピングセンター閉店の話が広がり、消費マインドが一層悪くなると思われる。
	ゴルフ場	冬期の閑散期については安売り競争に歯止めがかからず、客単価の更なる減少が予測される。	
	企業	製造業（電気機械器具）	各種減税等の終了・縮小による影響があるのでは。
		製造業（輸送用機械器具）	国内販売の不透明感は払拭されないと予想されるも依然、中国・北米等の販売好調は継続すると想定される。しかし、円高ドル安・ユーロ安の為替状況が継続すれば国内からの輸出から販売地域での現地生産化の動きが加速され、国内での作業量が減少していくものと予想される。
		金融業	発注企業である大手企業の海外シフトや内製化の動きが続き、足許の円高が加わりより厳しい状況になっている。
		不動産業	国内景気に関しては住宅版エコポイントの反応もいまいち。他に良い材料もなく、また具体的な政府の景気浮揚策も講じられていない為。
	悪くなっている	家計	商店街代表者
スーパー			原因がわからないので対策がうてない！
ゴルフ場			(1) 12月時の1～3月予約状況は前年比48%、計画費45%で厳しい。 (2) 1～3月冬期料金、気象予測厳しい。@が減少の懸念あり。 (3) 国政、県議選の結果次第で生活引き締めへの心配あり。
クリーニング店			明るい材料はほとんどなく、今後3ヶ月先も良くなるとは思えない。
企業		製造業（製缶）	今以上に、作業量の減少、売上の減少が続くと思われる。

(2) 県央地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	—	—	—
やや良くなっている	家計	自動車販売店	各メーカーが来年以降、ハイブリッド、EV車など環境に力を入れた車も投入になると思います。ユーザーも、これから購入するにはエコカーが良いと思われる方が沢山おられます。エコ減税と合わせて、また市場が伸びてくると思います。
		ドライブイン	新しい事にチャレンジし、対策を行う事によってやや良くなると思われる。
		ドライブイン	質問2で答えていますように、毎年の事ですが今度は季節時に梅の開花により観光のお客が増える時です。この様に思われます。
		レジャー施設	北関東自動車道も開通するため、周辺地域を中心に各レジャー施設が大がかりな誘客PRを行っているが周辺地域住民の反応も良く、需要の掘り起こしなどにより集客が期待できる。
	企業	製造業(金属製品)	需要は回復しつつある。また、秋以降、同業者の倒産・廃業がかなり増えてきた。需給のバランスを考えると、少しずつ良くなっていくのではと思う。
		製造業(精密機械器具)	引き続きOEM製品の受注増加と、7月から発売開始した自社開発の新製品の引合いが好調で、受注増を見込める。
		塗装業	個人、企業も、家の建替投資が増えている感じです。
		不動産業	春の移動期に入る為、現在より増える見込みがある。
	雇用	公共職業安定所	一部の産業において、人手不足感もあり、それが全体の求人数を押し上げている。求人の中身を見ると非正規労働(派遣、パート、期間)等の求人が約40%を占め、景気は上向きともいえるが、正規労働等を希望する特に新卒などの若年者にとっては、雇用環境が改善されているとはいえず、依然厳しい状況と思われる。
	変わらない	家計	商店街代表者
商店街代表者			景気が良くなる要素がない。
百貨店, 総合スーパー			国内経済が足踏み状態であり、所得環境の早期改善や消費の拡大は見込みにくい。
百貨店, 総合スーパー			買い控えに疲れ、高額商品等をご購入されるお客様は出てくると思われるが、全体的には節約志向が根づき、今後数ヶ月で景気が上向きになるとは考えづらい。
スーパー			今後、デフレから一部商品の値上がりを感じる。客単価UP or 維持すると思う。値ごろ感のある商品は、お客様に受け入れられる。一方、エコポイント半減や、政治面からも不安な要素は多い・・・。
スーパー			年末年始もあり、出費もあり、変化はあまりないと思う。買い物も慎重であり、ムダなものは購入しない。
スーパー			景気は底をついていると思う。
コンビニエンスストア			・現状と比較して今以上に日本そのものの景気が良くなるとは思えない。 ・エコポイント等の反動が、自動車電機関連事業を中心に始まっている。
農産物直売所			歳暮需要期だが、価格・数量共に減少した昨年と同じ。
専門スーパー			エコポイントに関わる商品の扱いが無い。
専門スーパー			エコポイントの半減で、一部反動が出るのではないかと考える。ただ、平年並、もしくは寒い予報もあるので、冬関連品の商品動向は期待出来ると思えるので、全体としてはあまり変わらないと思う。
レストラン			良くなる要素も悪くなる要素も見つからない。
レストラン			今後の受注状況から判断しても昨年と変わらないか、または少し悪くなっているように思われます。
都市型ホテル			業種にもよるが、上向きになっている話より、現状を維持する事がやっとな話が多く、宴会等の予約も、依然厳しい状況である。
旅行代理店			先行受注が思うように伸びていない。
タクシー運転手			街の様子や乗客の様子から見ても、現状の景気は変わらないと思う。
タクシー運転手			質問1と同様、お客様との話の中で、各企業とも、円高・株安等でかなり苦労しているのが分かる。
タクシー運転手			今後3ヶ月先までに景気が変わる要因が見つからない。
観光名所			予約状況も例年並に推移。その他特に目立った動きはない。
ボウリング場			予約状況が伸びていないので、良くて現状維持。
カラオケ店			先3ヶ月で変わると思えない。
レジャー施設			ボート、ヨット販売メーカーからの保管についての問い合わせ件数もこれまでと変わらないため。
理・美容店			3ヶ月先も見当がつかない。卒業・入学のシーズンではあるが、どうか・・・
理・美容店	相変わらず(株が上がっているので良い方へ向かうのかと思いますが) 景気は良くなりませんが、このままと思います。		
建築設計事務所	仕事が薄い状況と業務予算の低下。公共事業の落札状況はダンピング傾向が目立つ。		

企業	住宅販売会社	動きがあるとすれば、来年春以降ではないか。	
	農業関係者	農閑期に入り、生産活動が少なくなる時期なのであまり変わらない。	
	製造業(食料品)	昨年の業績を維持できないなか、回復は難しい。	
	製造業(印刷・同関連業)	客単価が落ちているため、件数が増えたわりには売上の伸びが小幅にとどまっているため。	
	製造業(窯業・土石製品)	受注量が良くない。	
	運輸業(道路貨物運送業)	自動車や家電品の補助金特需が終わって気になるところだが、自動車関係の機能樹脂などが動いている。	
	情報通信業(情報サービス業)	円安や株の動きにも不安定要素があり、景気を牽引した補助金やエコポイントの打ち切りなどの影響も相俟って、残念ながら、現状においては四半期先の明るい材料が見当たらない。顧客からは、当分の間、景気の足踏み状態が予想され、先行き不安もあり内部留保へ目を向けざるを得ないとの話が聞こえてくる。	
	金融業	取引先の収益状況からみると業種を問わず全体的に横ばいであり、今後も改善の見込みもないことから変わらないと思われま。さらに、閉塞感が満ちてきており、明るい話題が少なくなってきた。	
雇用	サービス業(コンサルタント業)	小売業や飲食業においては現在のデフレ傾向が続き、今後も厳しい経営状況は変わらないと思われる。現状は大手の値下競争に巻き込まれ体力勝負となっているお店が多い。	
	求人広告	求人の中で営業募集が少しだけ増えてきている。景気回復が厳しい状況で、逆に営業の人材を増やし売上げ拡大を計る企業さんが一部出てきている様子。	
やや悪くなっている	学校就業関係者	好転する材料が見当たりません。政府は景気刺激対策としてお金をばらまく各種支援をするようにしておりますが、この国日本の過去の歴史に、お金をばらまくような政策がとられたことはあったでしょうか。支援金を直ぐに消費に回すゆとりは一消費者としてはありません。	
	家計	家電販売店	駆け込み需要の反動で動きは悪くなると思う。
		レストラン	年明けの動きも厳しい状況が予想される。新年会などの予約の動きも鈍く、団体客の予約が減少している。
		都市型ホテル	単価が減少傾向で、3ヶ月先もこの傾向は変化しないと思われる。
		観光型ホテル	エコポイント等の政府の景気対策が一段落し、しばらくは消費意欲が減退すると思う。
		タクシー運転手	年を明けると前に戻ってしまう気がします。
		ゴルフ場	景気低迷の底が見え、上昇傾向を示していると予測されている方も多く見られるが、ゴルフ場にとっては例年1月から3月にかけては厳しい状況を示しているため、期待はできない。 ※他のゴルフ場も同様と思われるが、11月迄の黒字を12月から2月迄で食いつぶすことが多い。
企業	製造業(一般機械器具)	11月末から12月に入りました。何か変な気がします。やや悪くなるのでは。心配です。	
	サービス業(広告業)	年末年始の商戦以降の販促計画は抑えるとの話が多い。すでに来年の決算に対する対策が講じられており、宣伝広告はもちろん、販売管理費まで削減している。	
雇用	人材派遣業	若干の減員が予想される。	
	求人開拓員	エコポイント(家電・自動車)関係が終了・・・内需の冷え込み 円高傾向であり・・・輸出の冷え込み 以上の理由から求人企業・求人数が減少するのではないかと。	
悪くなっている	家計	スーパー	民主党が、本気で景気対策に取り組んでいない。野党も揚げ足とりばかりで、対策が出てこないの、ダメだ。
		コンビニエンスストア	良くなる情報がなく、お客様も、1月以降消費は上がらない。
		割烹料理店	どこを見てもどの人の話を聞いても良くなっている話はなく、この先不安です。
企業	製造業(食料品)	消費動向が上向くとは思えない。(雇用、賃金を取り巻く環境が悪すぎる)	
	製造業(印刷・同関連業)	良くなる要素が見当たらない為。	

(3) 鹿行地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	—	—	—	
やや良くなっている	家計	スーパー	生活必需品（食品）に関しては、現在も良くはなっていないので、あとは耐久商品が売れ始めれば改善されると思います。人員の削減や時間の調整も一段落したので、少しずつ労働時間も（1人当たり）伸びて来ている。=収入も安定してきているのでは。	
		農産物直売所	御歳暮用商品の予約が、前年より良い。	
		日本料理店	節約を我慢せず、普通に帰っている感じです。	
		理・美容店	春先に向けてイメージをチェンジするお客様が増加しますので、来客数は上がりやすいと思う。	
	企業	農業関係者	天候が安定しており作物の生育も順調なため、引き続き現状が保たれると考える。イチゴの出荷見込も順調となる見通しである。	
		製造業（化学工業）	引き続き、経費削減を織り込んだ上で予算作成も行う。不要設備の撤去なども多くなっており、努力を続けていけば景気は良くなるのではと思う。	
		建設業	土地の値下がりもあり、建築の競争による価格、販売の低下、住宅減税そしてエコポイントなど。	
	雇用	公共職業安定所	「質問2」の有効求人倍率の数値のとおり増加傾向にあると思われる。	
	変わらない	家計	コンビニエンスストア	根本的な問題解決と将来に向けての安定が得られなければこの状況については変わらないと思います。特に（鹿行地域の）コンビニについては労働者で成り立っている店舗が多いので、企業の業績は大きく影響があると考えます。
			コンビニエンスストア	景気動向からも得する時に前倒しの消費に動く傾向がある為、消費に波があり、セールやキャンペーン実施後の残存効果につながらないなど、客単価UPにもつながらない為。
自動車販売店			年々悪くなっているので、3ヶ月位では景気は良くならない。	
小売業（菓子販売店）			特に良くなる材料も悪くなる材料も無いと思います。	
小売業（酒類）			今のところ御歳暮商品の売上高が前年とさほど変わらず、3ヶ月先の景気もさほど変わらないと思われる。	
小売業（金物店）			公共事業の状況が変わっていないため。	
小売業（書店）			書店は大きな浮き沈みがなく、今年度は売上前年比毎月100%前後のアベレージ。3ヶ月先も同様になると思う。	
衣料品販売店			お客様を見ると、ムダな買い物はしていない。衝動買いなどすることもなく、必要性のある物のみ買っていく。食料品などと違い、我慢できるので個人の所得が上がりづらい限り、難しいと感じます。	
そば処			すぐに変動があるとは思えない。	
割烹料理店			電気設備関係自営業のお客様から、まだまだ景気は悪くなると聞いた。	
タクシー運転手			ここ1年ぐらい同じ。	
弁当・惣菜店			今の状況は3ヶ月たってもそう簡単に良くなると思わない。	
室内装飾業			取引先に出かけたら仕事がなく自宅待機だと話してくれた。このままの状態が長く続くのなら、営業したまま倒産が続出するのではないかと考える。	
住宅販売会社			円が高止まりしているの、回復基調にもっていくのは厳しいのではないかと。	
企業		製造業（食料品）	不況の感から脱出できない。	
		製造業（食料品）	季節的要因を背景で、来年1・2月は厳しさはまだ続き期待は出来ない。お客様に接していて、景気が良くなる雰囲気や良くなる感じが全く伝わって来ない。	
		製造業（鉄鋼業）	急に世界情勢が好転するとは感じられない。経済の安定を期待。	
		金融業	資金繰りの相談が徐々に出てきているものの、今後の見通しはまだまだ不透明であり、現状維持で推移すると思われる。	
		不動産業	お部屋探しのお客様が土・日などお越しになっている事から、動きが止まるというような事はないのかなあと思、尚、幹線道路に面している弊社から外を見ていると、車（大型）の動きがよく分かります。	
雇用	人材派遣業	変わらないと言うより多少景気が下降気味を予想する。要は政府のエコポイントに変わる世策を、タイミングとしては若干遅いが早く次の一手を打たなければ景気は戻すばかりになるだろう。株安・円高・物価安では期待は持てない。		
	民間職業紹介業	やはり中小零細企業の景気回復が図れていないために求人数の増加は見込めない。		
	学校就職関係者	現時点では予想がつかない。		
	求人開拓員	質問2の理由に記した傾向がさらに続くものと予想されるため。		

やや悪くなっている	家計	商店街代表者	現在の不景気の現象は、経済学で言う「要素価格均等化定理」に有ると思いますが、幸い日本は債務国ではありません。国債・県債等で国民に国や行政が借金しているだけの為、景気回復の余地があり、輸出振興の一例としては円の高止まり対策として、インフレにならない程度の通貨供給の別枠の微調整の方法もあり、1日も早く産業の空洞化を改め、充実に向ける時点と思います。
		商店街代表者	従来型の商店街では魅力を引き出すのが難しく、イベント事業などを行わないと客足は遠のくばかりである。
		スーパー	・仕事が無い人→高校を卒業しても働くところが無い話を聞きます。 ・お客様の人数はそれなりに入っていますが、買う商品が安いものだけに限られていて、単価が落ちている。
		洋食食堂	引き続き開店した飲食店へのお客様の流れが続くと思う。
		ドライブイン	就職内定率も悪化しており、経済状況が依然良くなる兆しがないため。
		パチンコ店	景気の回復が予想できない為。
		理・美容店	今の景気は先が全く読めない。景気が良くなる要素が見つからない。
		クリーニング店	デフレ状態が進んでいると思います。チラシの値段も以前より安くなっています。
	住宅販売会社	景気対策があまり感じられない。今でもなお将来に不安を抱く方が多い。政治に関して特に不安が大きく、とても景気が上向き感じを受けない。	
	企業	製造業（印刷・同関連業）	良くなる材料がない。
		製造業（化学工業）	円高の影響等から値下げ要請が強くなっており、国内を中心に需要も減少方向とのこと。
		運輸業（道路貨物運送業）	今後益々在庫のスリム化が進むと考えられる。また、統合、合併して物流の効率化を進めて行く方向にあると感じている。
		保険業	建設土木工事が減少している。
		サービス業	自動車、家電製品という2業種の先行きが不透明である。生産は縮小に入っており、今後受注減少が見込まれる。
悪くなっている	家計	家電販売店	家電エコポイントの段階的な縮小により、売上の減速が予想されます。
		小売業（薬品店）	様々な税金の見直しにより、増税が家計に重くのしかかって来ると思われる。
		タクシー運転手	景気の良い話はなく、もっと悪くなると思う。
		タクシー運転手	忘年会シーズンであるのに客足が悪い。夜の仕事がだんだん少なくなっている。
		ゴルフ場	年末年始の予約の入り方がかなり遅くなっている。尚且つ前年に比べ大幅に落ちている。今後不安を覚える。

(4) 県南地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	企業	建設業	県南地区を廻り各事業所一夫・中・小共8割方見通しについては樂觀。東南アジア、中国、インドネシア、ロシア、ヨーロッパに輸出している所は、24時間体制休日・祝日出勤で生産を伸ばしている。中小企業ははっきりと明暗に分けられ、飲食店ではよりよい味付・品数と安さを研究し、下げている所はかなり伸びている。万年努力せず、雰囲気も変えず同じ料理を続けている所は、確実に淘汰され、店じまい。
やや良くなっている	家計	スーパー	3ヶ月連続で前年対比を達成できていて、今後もこの傾向が続きそう。
		スーパー	青果の伸びが、お店トータルの伸びに影響している。また、曜日セールスの定着で数字が上向き傾向にあるため。
		コンビニエンスストア	価値を感じる事が出来る商品・サービスに対しては積極的な購買の動きが確認出来る為。
		自動車販売店	神立の工業団地の人が動き出したと思う。
		専門スーパー	円高の不安材料も一段落し、3月の昇給も今年よりは望める状態になり、景気も少しずつ回復傾向になると思われる。
	理・美容店	お客様の仕事が増え、これから少しずつ動きが出そう。この先変化は期待できる。	
	企業	製造業（飲料）	有価物（鉄スクラップ）売渡業者が、業界の景気が良くなってきたと言っていた。
		製造業（印刷業）	年度末を迎える為。
	雇用	求人広告	年度末に向けて、設備投資・工事等が増えると考えられる。
	変わらない	家計	商店街代表者
スーパー			売上前年比の伸びがここ何ヶ月か同じ推移なので、3ヶ月後も景気回復の判断材料が見つからないので変わらないと考えられる。
スーパー			この数ヶ月、売上が前年比を上回っており、景気は回復傾向にあると感じる。ただ、野菜の高騰によるものが要因でもあるので安心はできない。
スーパー			良くなる要素が見当たらない。
コンビニエンスストア			大きくは変わらないと思います。選挙などが行われると、マスコミが必要以上に報道します。報道の中で、今の世の中の状況を伝える内容によりますが、過去の経緯から考えると、プラスには向かないと思います。
洋食食堂			今以上に悪くなるとは思えないが、景気が浮上する兆しも見受けられない。
洋食食堂			これからの見通しは期待もしていないし、自分たちがしっかり仕事をやるだけ。お客様の様子も変わらず不景気とのこと（印刷業）。寿司屋さんが今までになく更に暇とのこと（11月）。
都市型ホテル			季節的な要因（忘・新年会等）で予約数は上昇しているが、お客様の予算は変化がない為、景気は変わっていないように思われる。
タクシー運転手			研究学園駅のみが開発が進み、他の駅の開発が遅れている印象がある為。人の動きが少ない。
タクシー運転手			前年の12月の状態と変わらないと思う。
タクシー運転手			安定した業績が予想出来ない現状では、企業の活動も自ずから制限を受け、無駄・節約・削減等のことばかり、今後も議題に上ると思われる。
タクシー運転手			景気回復への期待感なし。
ゴルフ場			予約の受付状況から大きな変動は感じられない。
ゴルフ場			現状が良くないので予約数等から判断、上向きの理由が見つからない。
レジャー施設			まずは、景気回復が最重要です。「変わらない」か「やや悪くなっている」と思われます。
理・美容店		未だに景気対策の打開策は見出せずにいる状況。円高や世界経済の行方を冷静に見守る姿勢。	
建築設計事務所		現況より良くならない。	
住宅販売会社		土地の造成や開発が進み始めたが、本格的に回復するにはもうしばらく時間が必要。	
企業		製造業（家具・装備品）	景気が悪いという事を実感しました。しばらくは続くのではないかと思います。
		製造業（食料品）	景気が良くなる要素が何も無い。
	製造業（窯業・土石製品）	年度末を控えて、例年であれば受注が増えてくるが、現状を見ていると例年並みの受注は見込めないと思う。	
	製造業（一般機械器具）	現在、特に景気の良くなる材料が見当たらないため。	
	建設業	良くはならないだろうが、悪くもならないだろうと思う。1~2月は官公庁関係の仕事はたくさんあって、民間は少ないのが毎年のことであった。今年は民間も出てくるような気がするが、官公庁関係が少ないだろう。よって±0のような気がする。	
	建設業（設備工事業）	材料の単価の問い合わせ等が多数あり、数量も大である。	

	運輸業（倉庫業）	生産数、販売等の情報を聞いても減少傾向にあり、良くなる要素が見当たらない。しかし、荷主によっては生産増加が見込まれる会社があり、今後の動きに期待している。
	金融業	特段明るい話題もなく、現状と変化なく推移すると思われる為。
	雇用	人材派遣業 取引先状況（生産状況）による。 公共職業安定所 現状においては、期間工・派遣業の求人増は見られるが、一般求人による常用求人の更新については減少傾向である。よって、輸出産業等の見通しが、まだはっきり見えてこない状況にあるようです。 学校就職関係者 求人数は希望が持てず、景気も変わらなく感じる。当学院においても、就職難であり、64名の求職者中55名が内定しており、約86%の内定率である。今後の求人も期待は持てず、一段と難しい状況になりそうだ。
やや悪くなっている	家計	寿司店 景気がやや上昇とかテレビ・ラジオで聞くこともたまにありますが、実感として景気の低迷はまだまだ続くと思われます、残念ですが。年末手当（ボーナス）の話など、ほとんどお客様から伝わってきません。どうなっているのでしょうか。 都市型ホテル 同様に、単価が下がり傾向、歓迎宴会プランも安価なプランを選んでいる。またプランより安くないと、宴会も行わない所もある。 旅行代理店 先行の旅行の申込状況は前年に比べるとあまり良くない状況で、旅行する層に差が出てきていると思われる。 ゲームセンター 本来なら忙しくなる12月で閑散としている状況を考えると、今後3ヶ月先は更に厳しくなると考えられます。
	企業	農業関係者 年末には資材代金や農地の借地料を支払う農家が多く、販売代金での生産が困難な方が昨年より多いと予想される。戸別所得補償による交付金を受けられる米農家でさえ、米価の下落が大きく昨年より収入は下回ると思われる。 製造業（食料品） ギフト用には買い求めますが、自宅使用には価格が高い為使用しない様に感じます。 製造業（窯業・土石製品） 家電のエコポイントの終了。 不動産業 消費者マインドとしては客単価の下落（売買総額・賃料単価）傾向にあり、先行きに対する警戒感がある。年収の減少も影響している、企業の人事異動（転勤）が減少している。
	家計	家電販売店 エコポイントの半減。
	企業	製造業（非鉄金属） 主力取引先からの3ヵ月インフォメーションでは、12月までの受注量は対前年比10%程度増加しているが、2月以降については2~3%の増加にとどまっている。エコ減税打ち切り、円高によるメーカー側の輸出面先行き見通しに不透明感があり、非常に不安感が増している。 建設業（設備工事業） 問い合わせ案件も減っている。
	雇用	求人開拓員 ①景気の先行きが見えない。 ②（若年者・新卒者）求職者の企業求人は多いが、職種を選択・選別を好む傾向になっている。

(5) 県西地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	—	—	—
やや良くなっている	家計	商店街代表者	新年になり、年度末になる。新入生に期待する。
		ドライブイン	今月に入っても客数・売上共に増加傾向にあるので、このまま少しずつ景気回復するのではないかと。
		ゴルフ場	早期に対応した成果もあるが、企業及び個別コンペ増（対前年）。会員紹介増等、予約が順調に推移している。
		住宅販売会社	エコポイントや太陽光の補助金がなくなるまでは、この状況が続くと思われる。
	企業	製造業（化学工業）	在庫調整が終わり、実需に近い受注がくるのではないかと考えている。
運輸業（道路貨物運送業）	株の動き、客先の動き等を見て、そう思う。また、そう願っています。		
雇用	人材派遣業	今までの会社が少し良くなっている。	
変わらない	家計	スーパー	景気の先行きが不透明で期待はできない。政治不安の状態が改善される様子はなく、大きな変化は見られないように思う。
		コンビニエンスストア	賞与が微増などのニュースも流れているが、現在の不安定な経済状況、政治の流れの中では、現在の節約志向は継続する事が考えられる。
		コンビニエンスストア	客数は増加傾向にあるものの、買上点数は下がっている。客単価は少し上がってきているが、タバコ増税に伴うものであり、また、民間のボーナスが3%程度上がるという話もあるが、1昨年に比べればまだ回復率は低く、今後1人当たりのお客様買上点数は下がると考えられ、客数増はあるが現状と景気は変わらないと判断する。
		農産物直売所	景気の回復が見込めないため。
		専門スーパー	政界再変やイベント招致など意識が大きく変わらないと、景気上昇は見込めない気がする。
		ガソリンスタンド	特に良くなるという要因はない。
		和食食堂	なかなか明るい兆しが見えないが、これ以上悪くなる様な材料も見当たらない。
		和食食堂	景気回復が遅れており先が見えない状態にあり、今月より良くなっているとは思わない。
		鰻屋	景気が良くなる話が無い。残業が増える見通しが無い。若い人達は飲食より趣味にお金を掛ける傾向があるので飲食店は厳しい。
		タクシー運転手	賑わっているのは、ユニクロ・エコ家電売り場などである。
		タクシー運転手	今の状況では変わらないと思う。
		ドライブイン	為替相場が安定し、株価が堅調であることを前提にしても景気がすぐに良くなる事は考えにくい。政局が混乱すると、景気にも悪影響を与えかねないのが現状である。
		ゴルフ場	ゴルフ場に於いては御予約状況、コンペ予約等での判断で、上記の判断と思われる。
		ゲームセンター	景気の良い話も悪い話も特になく、今後の事でも話題になりそうなものが無い。
	レジャー施設	経済先行きの不安が解消しない。	
	理・美容店	普通の会社員の方は依然と会社内容は変わらないと言っている人が多いが、土木関係は仕事を取るのが大変と聞いている。	
	理・美容店	これ以上悪くならないように、付加価値や店販の売り上げを上げている。	
	建築設計事務所	今後の引き合い物件がない状況で、年明け後の見通しが立たない。今後悪くなる可能性もある。	
	企業	農業関係者	現在出荷されている野菜や果物にも数量の減などが予想される。単価が上昇することはいいが、消費が少なくなる可能性もある。
		農業関係者	3ヶ月先の3月は、変化がないと思われる。（収入減少により、客単価・利益率に大きな変化なし）この傾向は続くと思われる。
製造業（食料品）		大きな変化の要因が見当たりません。夏の猛暑も良い効果と悪い効果があったようですが、この冬が厳しくなるそうで景気の見通しには何とも言えない部分がある。	
製造業（食料品）		仕事が一時的に増えても短期的なものが多く、長期的な売上増につながらず、人員を増やしたくてもすぐに仕事が減るので、雇用増に結びつかない。したがって景気は一進一退がまだしばらく続くと思う。	
製造業（窯業・土石製品）		今は私は「底」だと思いますので、今以上は悪くはなりません、良くなる要素が全くと言うほど無いと思います。得意先や同業者の共通のあいさつ言葉が「困った」「仕事が無いよ」なのでですから良くなりません。	
製造業（金属製品）		景気の推測可能な範囲は1~2ヶ月と考えており、3ヶ月先は現状では想定は難しい。	
製造業（一般機械器具）		親会社が年間売上目標を立てて話をしてくれますが、売上が伸びた会社は自動車関係だけです。今月はボーナス、御歳暮の出費分だけ苦しい。	

	金融業	エコカー補助金・エコポイントの改正に伴う大手企業の減産体制から、下請業者は受注減少が予想されます。また、円高・株安及びゼロ金利政策等により景気回復の要因が見られず現状と変わらないものと判断します。	
	サービス業（コンサルタント業）	このままの状態では越年するのではないかと思います。	
	雇用	求人広告	年度末に向けて多少は期待したいが、あまり変わらない気がする。
やや悪くなっている	家計	学校就職関係者	新入社員を募集する企業も増えてきたが、依然先行きが見えない企業が多い。そのため、このまま変わらないか、悪くなっていると思う。
		就職相談員	正社員の求人は変わらず、雇用期間が短い求人が多い。
		商店街代表者	12月でも今の段階で客足も伸びず、良くなる条件が見当たらない。自店で試行錯誤しながら努力するしかないと思う。
		スーパー	小売全体でまだまだ安売りでの集客が多く見られる。適正な利益が取りづらくなっている。
		家電販売店	12月よりエコポイントが半減となり厳しい状況となります。エコカー減税同様、台数減となる事は間違いない。
		都市型ホテル	予約状況を見ても少し減少している。この先も景気は、やや悪くなると思われる。
		旅行代理店	先の予測が立たない。景気が良くならない様です。
		ビジネスホテル	年末から年度末にかけては、特に厳しさが増してくると思われる。
	企業	タクシー運転手	不景気が続いているため外食している人が減少している。
		タクシー運転手	年末で少しは多めに夜の客が増加すると思っていたが、飲んでいる客がいない。
製造業（印刷・同関連業）		じり貧の状態、展望がない。	
悪くなっている	企業	製造業（窯業・土石製品）	質問2で答えている現状ですので、寒さに向かう折、仕事が増すことはないと思います。
		不動産業	新築に比べて中古を考える人が増加。
		家計	自動車販売店
	企業	クリーニング店	お金をたくさん使おうというような感じがみえない。少しでも節約という気が強く感じられる。
		建設業	景気の良くなる要因がない。政治が景気対策をなされていない。
雇用	公共職業安定所	エコポイント・減税が終了し、今後景気を大きく変える政策が見えず、悪くなっていると思われる。	

Ⅲ 景気の判断コメント — 3 その他の意見

(1) 県北地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	100年に一度の不況が一般市民生活に圧迫をよりかけている（全体の雰囲気として）。雇用を含めた生活基盤の整備を望みます。
	商店街代表者	仕事の量が少ないせいか、最近特に顧客からの値引きの要請が強くなっている。いよいよ生き残りをかけての戦いが、クライマックスを迎えたという実感がある。
	スーパー	地域的に観光地への顧客増がみられる。地域の祭り・イベントへの参加率は高い。季節物に敏感になり、ゆとりが感じられる。
	コンビニエンスストア	タバコの販売数量が回復傾向、嗜好品についての支出はさほど削減されていない。
	小売業（工具）	デフレが一段と深刻化し、また定着しつつある。会社も個人も、利益の分配や生活水準をどのように下げていくかが求められている。どのように降りていくかがカギとなるだろう。
	金物・荒物・建築資材	平均して物価が下がっている。
	小売業（水産物）	・商品全体的に安価なものの売れ行きが良い。 ・まとめ買いをされる方が少ない。
	小売業（靴製品）	しかしながら感性に合った品を見極め理解したら、けっこう高額品を買う場合もあるので、接客して説明することが大切。
	レストラン	早く景気が良くなって欲しいです。明るいニュース欲しいですネ！
	スナック	小さな工場等で廃業する所が何ヶ所かあったので、小さい所からダメになっていくのかと不安になる。
	和食食堂	暖かい日が続いたせいか、季節感が無くなったのか、遅い時間（閉店間際）のお客が多い。例年のこの時期には考えられない。
	観光型ホテル	宴会のお客様の客単価が下がっている。
	観光型ホテル	なかなか景気回復には難しいと感じます。先の予測がつかない。
	タクシー運転手	先日、私の会社の上の者より、今年1年は昨年に比べて多少の収益を上げる事ができたとの話を聞きました。その収益で新車を何台か買うとの事で、それはそれで非常に良い事なのですが、自分たちの給料にはね返るかとなると、そうでもない様に感じるのですが・・・とにかく、今のペースでいけば少しずつ会社も上向きになり、自分たちの給料も少しずつ良くなると信じていきたいと思います。
	タクシー運転手	年末を目前にして閉店している店が見受けられる。
	ゴルフ場	(1) 市内商店街の一般消費、減少傾向。 (2) ゴルフコンペのパーティー単価、コーヒーパーティーの動き加速か。
理・美容店	最近の葬儀に出席すると、以前に比べ大分、合理的・経済的な式になってきた。理解するも、時代なのか経費削減なのか寂しくも感じる。	
クリーニング店	エコポイントの影響でテレビの買い替えの需要がすごく、家電量販店は納品が間に合わないみたいだ。	
企業	林業関係者	雇用関係による久慈川流域周辺の森林整備に期待したい。
	水産業関係者	イベント等では、無料の場所だけが繁雑で、有料での場所は半分が残品になり売れ残った状況が多くなってきました。世の中不景気だと、身にしみる思いがします。
	製造業（精密機器）	製造業は増えていると言っています。
	製造業（製缶）	円高により、重電機器メーカーも、海外展開が加速すると思われる。
	製造業（一般機械器具）	会社の決算見直し状況を上方修正した。
	製造業（電気機械器具）	海外での現地生産及び現地調達が進んでいる。（円高も影響しているのでは）
	製造業（電気機械器具）	直接的な原因は分からないが、中国向け案件の一部が延期になるなどの話がある。
	運輸業	景気の話とはあまり関係ないのですが、世間では就職氷河期等、雇用の受け皿がなくなってきていると報じられていますが、弊社を含め、同じような業界では人材不足・高齢化が聞かれて久しくなっております。どうも就職希望者と会社の雇用条件がミスマッチになっているのか、それぞれが満足できる雇用形態になっていないような気がします。会社側も雇用条件の改善をしていかなければ人材が集まらないのは分かるのですが、企業努力もそろそろ厳しい水準に来ていると思います。就職希望者の支援・教育も段々と聞こえてくるようになって来ましたが、更なる人材育成・就職支援の整備をしていただければ幸いです。特に具体的に即戦力に近い状態で育成・支援があれば、と思うところがあります。
	金融業	景気対応緊急融資の利用が一巡し、利用枠の問題から資金繰りに苦慮している企業が増えてきている。
	不動産業	当社が分譲していたマンションが竣工前に売れ残った。マンション需要の改善がみられる。
運輸付帯サービス業	少し気になる点は、ここ2〜3ヶ月、外部からの受信電話の本数が概ね30%減っている。	

雇用	学校就業関係者	公務員のボーナスもカットされているので、景気の回復が見られないと思う。
	求人開拓員	内職者の募集が出てきたが、期間限定の仕事が多い。

(2) 県央地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	水戸市においてはコミケの開催や映画ロケの誘致などで、地域PRの機運が高まってきている。ぜひこれからも継続しておこなってほしい。
	商店街代表者	商店街として、イルミネーションを12月1日から1月31日まで施している。今年は、名称を「トワイライト・ファンタジー ビアレ南街」として、お客様をむかえている。12月1日から、商店街発行のプレミアム商品券を発売して、お客様の購買力が増えるように企画している。
	百貨店、総合スーパー	質問4のように、一部高額商品をご購入されるお客様が以前より増えてきている（買い控えの疲れからなのか?）。また、ギフト品はパーソナルギフト系商品の人気が上がってきている。
	スーパー	・デフレが終わってきている。 ・収入格差が広がっている。業界によりボーナスがないなど。（失業者悪化との記事もあり）
	スーパー	物の値段が極端に下がっていると思う。メーカーの出荷価格を大幅に下回ってスーパー等で売られているのは、どんなカラクリがあるのか?電気機器メーカーの社員が言っていたことだが、VHFアンテナがホームセンターで、会社の出荷価格より安く売られている。どうなっているのか?分からないと。
	コンビニエンスストア	中古セールスが、気持ち少し上がっていると思います。
	家電販売店	クレジットの契約で買う人が少なくなっている。現金を持っている人が増えていると思う。
	農産物直売所	忘年会の回数や実施店舗のレベルが下向き。
	専門スーパー	中国の原料が上がっている為、商品によっては今までより売価が上がる予想。それによって売上がどうなるのか?
	専門スーパー	相変わらず修理の依頼が多い。以前は買い替えてしまっていたストーブ、ファンヒーターなど季節柄、目に付く。
	レストラン	少子化の影響もあり、お祝いなどの利用も少しずつ減少している。
	レストラン	年末での倒産の話や、ボーナスの減少などの話を聞く。
	レストラン	個人消費もサイフがたかくなっており、以前のような高単価の商品が販売しづらくなっています。当分はこのような状況が続くと推測致します。
	割烹料理店	世の中全体が戦いではないのでしょうか?
	観光型ホテル	限られた可処分所得をどう有効に使うか、欲しいものは何でもという時代は終わったような気がする。
	旅行代理店	店頭型店舗（同業他社含め）が不振、各社とも店舗の統廃合も含め検討・対応している。
	タクシー運転手	身の回りからも景気の回復は感じられない。
	タクシー運転手	水戸駅前にも人が増え、年末のさわぎがしています。このまま続いてほしいものです。
	ドライブイン	景気には関係ありませんが、千波湖の桜田門外のオープンセットを、借楽園に来園されるお客様が下で見て、さらにこちらに来られることが多くなりました。
	観光名所	昨年に比べて来館者は10%程度減少しているが、客単価は各月とも若干の増となっている。しかし売上減を補うほどではない。
レジャー施設	相変わらず土産品の購入単価は下がっている傾向にある。しかし、自分たちで消費する飲食に関しては、節約傾向はあまり見られない。レジャー費用のかけ方には節約傾向が見られるが、レジャー自体を取りやめるといった様な状況までは行っていないように思われる。	
理・美容店	テレビで見ましたが、茨城県のCMはあれでは他県の人にはだめだと思います。私もあれではだめです。下から2番目とは思いませんでしたが、もっと良いマスコットを作ってください。景気とは直接ではないですが。	
企業	農業関係者	TPP問題で農業の将来に農家は不安を抱いている。
	製造業（窯業・土石製品）	生活に不必要な物の購入を控えているようである。
	製造業（一般機械器具）	やや持ち直したと、やや元気になりましたが、12月から心配です。建設機械関連、増産と設備投資をするようです。元気です。自動車も一部元気です。その他はどうなるのでしょうか! 政治、しっかりしてほしいです。
	製造業（精密機械器具）	OEM先からの情報ですが、工業用薬液の引合い・受注が好調との事で、昨年の状況とは様変わりしている、景気の回復傾向、手応えを感じています、との事でした。
	運輸業（道路貨物運送業）	WTIの原油が11月に入り高騰し始めており、トラック用燃料をはじめ値上げの要請がきている。
	情報通信業（情報サービス業）	一部のカジュアルファッション店は、品不足にもなるなど、引き続き勢いは止まらない様子である。受け入れ易い価格と魅力ある商品の品揃えは、店頭で多くの老若男女を呼び込んでいる。これに対し、昔、大売出し等で賑わった町の中心街のパワーは、どこに消えてしまったのか。いつも感じるのは、シャッターを下ろしている店舗の多さである。

	金融業	ボーナス預金のキャンペーンを推進しているが、支給額の減少や年末年始の用立てなどで預金の集まり方に変化があることから、消費に向けているような感じがある。
	不動産業	土地の売却を考える方が多くなった気がする。それに伴い単価が下がる可能性がある。
	サービス業（コンサルタント業）	水戸市の中心市街地においては、これまでになかった新しいイベントがいくつか開催された。それぞれ5千人～1万人を集客できた。
雇用	学校就業関係者	景気が悪いといわれますが、それでも、現在はとても豊かであると思います。
	求人開拓員	食品スーパーに買い物に行くと野菜、特に葉野菜（白菜・キャベツ）が高い。

(3) 鹿行地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	特殊な技能を有する町工場などは忙しく頑張っているようですが、町中を見ると更地が増加傾向で、景気の低迷から特に商店街が目につきます。スーパー等でも売上の伸びは無いそうです。客単価も同様に低いとの事です。
	商店街代表者	忘年会シーズンなのだが、昨年比で飲食店街の人の流れは幾分少ないように感じる。
	商店街代表者	中国からの製品に関して、不安定になって来ている。
	スーパー	チラシ商品が無いと、その商品以外は買わない。目玉商品以外はなかなか手を出して頂けない。ギフトも、特に割引率の高い商品に限られている。ギフトの単価も下落している。
	コンビニエンスストア	特にありませんが、鹿嶋コンビナート周辺企業では、週休4~5日の方が過去3ヶ月ではいましたが、直近ではようやく週休2~3日に戻ってきてると聞いています。
	家電販売店	家電エコポイントの半減により、11月は一時的に駆け込み需要が発生しました。
	小売業（金物店）	鹿嶋市では学校関係の耐震工事を行っています。
	洋食食堂	・近隣のコンビニ等の閉店が続いている。小さなお店が生き残るには更なる知恵や工夫が益々必要と思う。 ・中国人研修生だけのグループの食事の利用が増えた。
	割烹料理店	報道では、大卒者の就職が決まらないなどの話があったが、仕事を選ばなければ就職できるのではと思った。募集の広告は、よく見かけるので。
	日本料理店	閉店する店が多かったが、最近では他にはあまり見られないような個性や特色のある店が出店するようになった。
	観光型ホテル	忘年会の時期、利用者が少し増えている。
	タクシー運転手	景気が悪いからなー、の一言に過ぎない。
	ゴルフ場	ゴルフ場内において、レストラン、ハウス売店やコース売店等の売上や衝動買いなどが無くなり、余分な買い物などが無くなってきている。
	パチンコ店	景気回復が見込めない為、消費が少なくなっている。
	理・美容店	景気の良い人は良い、悪い人は悪い。極端だと思う。
	理・美容店	コンビニで余計な物（ついでに買う）を買わなくなった。
	クリーニング店	農家で中国人等に頼んでいるが、今年の7月から時給が上がったので、人数を減らしたり日曜日を休みにしているようです。
	室内装飾業	若干、公共事業の現場が見受けられる。それに工事の受注単価は最悪だと思いますね。
	住宅販売会社	エコポイントや各補助金の影響で、建築を考え始めている方たちの来店が多い。これらの施策がなくなった時の影響が心配だ。
	住宅販売会社	住宅版エコポイントや長期優良住宅制度の後押しもあり、高断熱化が進み断熱材の建材メーカー様は生産が間に合わない位の著しい需要の回復があるようです。現在も断熱材の納期未定が各地で発生し、現場が工事ストップになっているというような問題になっているようです。
企業	農業関係者	銚田ブランドの農産物加工品が新たに13品目開発された。（メロン、トマト、さつまいも、ゴボウ）これで銚田ブランドは計33品目となり、販路も拡大された。顕著なところでは、中国上海市での輸入が決定しており、大型案件として成功が見込めそうである。ただ、TPP問題の行方を非常に心配するコメ農家の声を聞く。特にカリフォルニア米は脅威であり、壊滅的打撃を受けることは避けられないと考える。
	製造業（食料品）	店舗売上げは厳しさが続いているが、インターネット・県特産品等の売上げは伸ばしている。地域の特徴を出した商品は、今後、期待できる様に見える。
	製造業（化学工業）	今後の需要動向が不透明であり、再び大きく稼働を下げような事態を懸念している。
	製造業（鉄鋼業）	公共土木工事が激減したように思う。また市内でのイルミネーション事業の縮小。
	運輸業（道路貨物運送業）	コスト削減の為、スリム化、効率化を進める事により物流の一番重大なサービスである、ジャストインタイムが測れなくなる恐れが起こり、逆に製品の品質低下につながる事が考えられる。
	金融業	全体的に金利について非常に敏感になっている。
	保険業	人口の減少が続いているので景気は良くない。
	不動産業	政府の景気対策の一つとして始められたエコポイントの成果は、なかなかのものです。知り合いの電気店の方から話を伺いましたところ、家電（TV）の売れ筋が良いとの事。来年の地デジへの移行の為の準備かと思われ、最終期限の近い日は、かなりの混雑だったそうです。
	サービス業	北関東道の延伸、東北道への到達により、北関東道の通行量も大幅に増加していると感じる。

雇用	民間職業紹介業	政府の思い切った景気対策や雇用対策が今後のカギとなる。この状況が続けば、人材ビジネス企業の成長はない。
	求人開拓員	10月以降のハローワークの正社員募集の求人の殆どがトライアル併用・若年者等特別奨励金併用等となっており、茨城県としての就職支援センターでの求人開拓にかなりの制限が掛かっており、獲得できる正社員求人数が落ち込んでいる。 従来求人を持っていた従業員数が20～30人程度の中小企業、特養老人ホーム等の介護施設等へ求人開拓で事業所訪問しても助成金を持ち出され、県としての求人情報を獲得する事が出来なくなっている。パート、アルバイト、及び内職の求人を獲得するのみの状況になっている。 大学及び高校の既卒者への正社員としての就職マッチングに寄与できないことが残念に思われる。

(4) 県南地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	円高・デフレにより企業の海外進出が加速し、国内での正規社員の採用が減少し、パート・アルバイト増加では安定収入が見込めず、消費拡大に向かわず景気浮上にはならない。政府の内需拡大に期待する。
	スーパー	景気は決して良くはないが、住宅や店舗等の新築が目につく。
	スーパー	高校3年生のアルバイトがまだ就職が決まらない。聞いた所、約4割が決まっていない。
	スーパー	高額商品のおせち・お重セットの予約が好調に推移している。
	コンビニエンスストア	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンなど新しい商品は売れる。 ・質の高いもので、価格が手頃なものが増えてきている。 ・デリバリーやドライブスルーなど、中食に対するサービスが増えている。
	専門スーパー	TXのつくば学園駅周辺にアパートが建ち並び、また分譲地の契約も順調にしているらしい。
	洋食食堂	一般のサラリーマンの方々の夜の予約が減少している。昼の弁当などはそれなりに注文があるが、夜の顧客が増えない事には厳しい状況が続くそうである。
	洋食食堂	洋食レストランの広告を見ますと、価格を下げて集客を狙っているようです。そういう店ばかり増えています。
	寿司店	この地に越してきて35年目になりました。地域のこの町も開発されて36年目ということは、平均年齢も上昇したということになります。趣味の会が90くらい、特定登録して図書館の2Fとか公民館で盛んになって楽しそうにしています。(俳画or絵(スケッチ、油彩、パステル)、書道、茶道、絵手紙、拳、柔道、革工芸、ベーゴマ、七宝焼、合唱、フェイクハーモニカ、コンサート、琴、ダンス、卓球、男の料理、女性料理、パソコン、外国語クラブ、どじょっこの会、よさこいの会 などなど) 最近、会員数が少しずつ増えてきたそうです。退職した人などが入っていくのでしょうか。
	都市型ホテル	以前であると、海外旅行を社員旅行として行っていた会社が、総会と懇親会として行う所や、協力会社の共栄会も自粛していて、一泊研修、総会を日帰りにするところなどよく話が入ってきている。
	タクシー運転手	胸襟を開く場としての夜の街がどんどん寂しくなっている。盛り場として文字通り賑わいを取り戻してほしいと願っている。
	ゴルフ場	業種により景況の上下の差が大きいとの声を聞くことが多い。電気製品の販売、IT関連は比較的好況との声を聞く。
	ゴルフ場	12月に入って20度近くなる事もあり、自然相手のサービス業には、なかなか厳しいのが本年の状況だ。
	ゲームセンター	当店だけでなく近隣の商業店舗もお客様の姿がまばらに感じられます。依然として必要な物以外にはお金を使わない傾向にあるのではないのでしょうか？
	レジャー施設	本年度も昨年と同様でしたが、営業努力により集客等が増加出来ればよろしいと思います。
理・美容店	年末のセールやクリスマスの大安売りなど以前はもっと賑やかだったような気がします。どこかシュールというか、地味というか・・・	
理・美容店	仕事はあるのに人手が足りていないと、よく聞くようになってきた。下請けも仕事が増え、発注が間に合わない。	
建築設計事務所	リフォーム会社の下請工事会社も、工事費が厳しいようで、住宅設計にも影響があるようです。	
住宅販売会社	県南エリアに関しては、雇用の回復も進み始めたようなので、もうちょっとの辛抱か。	
企業	農業関係者	農家の平均年齢が65歳前後であるため、70歳代の方で農家を辞めて他の農家に来年から委託するとの話をよく聞いた。TPPに参加するニュースが出た事もあり、農家は動揺している。将来が見えない農家は、今後どの様に進むべきか判断に困っている。
	製造業(家具・装備品)	他の業種のことはよく分かりませんが、あまり良い話は聞きません。自社の仕事は高級品が安い品が多少動きますが、中間のものが売れません。何とか売れる値段の物を作ろうとしています。
	製造業(食料品)	近隣のお店の安売り、特に食料品については沢山のお客様が入っており、中国産の品物とかに以前の様にこだわっていない様に思います。安い価格の品を購入の様子です。
	製造業(印刷業)	政権が不安定ということもあってか、前向きな明るい話題が無く、景気の先行きに不安を感じる。
	製造業(窯業・土石製品)	我が家でも2・3代目のテレビの駆け込み購入をしましたが、随分この話は近所でも聞きました。
製造業(非鉄金属)	大手メーカーのグローバル化によるコストダウン要請が一段と強まっており、品質面にも強い指導がある。ある中堅メーカーでは、不良流出から見積もりストップ、一部の部品が他メーカーへ転注になった。国内同業者メーカーとのコスト競争が一段と激化。	

建設業	中小企業の経営者の近頃の動き、以前より友人同士（接待はさほどはり込まない）での飲み会は活発化している。一次、二次、三次会位迄平気で梯子する金回りが出て来たように感じる。但しどこでもいいと言えない。良く楽しませてくれて、明るい雰囲気のお店でないと入りません。あくどいサービスの所も最近は好まないようです。情報交換を好んで、自社の営業に繋げる飲み会を楽しんでいる。	
建設業	近くでラインの分電盤製作と工事をやっている業者がいるが、かなり忙しそうだ。製造業者がラインの増設など、設備投資にお金をかけるようになったのであろう。	
建設業（設備工事業）	閉塞感が漂っている。	
金融業	税金滞納に伴う調査依頼や、差押などが増加している。	
不動産業	茨城県の分譲・URの分譲等、売地の供給が過剰である。賃貸物件の供給過多により、賃料の下落、空室が増えている。（需給のアンバランス）しばらく続く。	
雇用	公共職業安定所	円高等経済情勢により、景気回復が見られる産業と見られない産業が発生する恐れがあると感じる。
	求人開拓員	通年を通し、福祉・介護の求人は多いが、求職者の就職率が悪い。

(5) 県西地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	県議会の選挙がある。選挙時前後は商売にならず困る。
	商店街代表者	待望のプレミアム商品券が発行された。希望者が多く、要望の80%の金額しかもらえなかった。『商品券を当店でお使いください』とチラシ等でPRしているが、エコ商品購入に流れるのかいまいちの感あり！
	スーパー	お客様のディスカウント指向は依然続いている。
	スーパー	忘年会シーズンでも、外食等の集客が少ない様に聞いている。現に週末の状況ですが、個人的な利用者しかいない様な状況であった。会社等での忘年会等が少なくなっているのでは・・・景気のせい？
	コンビニエンスストア	TXの通っている守谷市ではアパートやマンションの建設が増えてきており、地域によっては今後の明るさが少し見えてきている様に感じる。
	コンビニエンスストア	12月からのエコポイント減少を受け11月中に家電の買い替えを行った人が、従業員さんにも多い。賞与が思っていた程増えていなければ、買い控えが起こるかもしれない。
	家電販売店	とにかく11月は家電エコポイント商品の買替え需要が多かった月でした。在庫がまったくなくなり、予約での購入（2ヵ月待ちの状況）です。
	自動車販売店	車業界は補助金も終了し、対前年60～70%で推移しています。大変苦しい状況で、今後のことがとても心配です。
	専門スーパー	外国人のお客様が増えてきている。外国人雇用に近隣企業にて増加している為か、週末は買い物をされることが多い。
	ガソリンスタンド	燃料油は別として、必要な商品以外（水抜き剤とか高級ワックス洗車など）はあまり売れなくなった。
	和食食堂	皆様（自分も含む）すっかり不景気の生活に慣れた様に思えます。
	鰻屋	飲食店は特に飲酒運転防止の法で明るくなることはなく、またお酒を飲んで勢いをつける人たちが少なく、日本全体が良くなる方向に行っていると思う。
	都市型ホテル	近くの個人で経営しているお店のオーナーが、今年の12月は5年前の普通の月の売上げと変わらない、と話してくれました。このまま景気が良くなるなければ、どうするか最悪の事も考えてしまうと思われます。
	旅行代理店	尖閣諸島の問題で外人ツアーが全然ないようです。ツアー会社は大変です。当社は、忘年会の旅行などほとんどなく、団体旅行は全くありません。部活の送迎も値下げ競争でやって行けません。大変な時代です。
	ビジネスホテル	例年とは何かしらプラス要因があり補完されてきたが、特徴的な動きが全く感じられないのが特徴かも！
	タクシー運転手	飲食店の、業店を見かける。スナック→もつ焼き、居酒屋→焼肉店等
	タクシー運転手	家の人が駅に迎えに来る台数が増加しているため、駅からのお客様の乗車が減少している。
	タクシー運転手	周りのスーパー（小さめの）が店をやめたりしている。大型店のみに送迎する客が増加しているが、小売店には人は行かない。
	ドライブイン	相変わらず訳アリ品がよく売れ、正規品が売れない傾向が続いており、野菜でも10円いや1円でも安いものを求めている人が多い。
	ゲームセンター	野菜の値段やガソリンの単価は落ち着いてきたが、それがプラスになるとも思えない。近くに新しい店が出来る等の話題も無い。変化を感じるような要素がまるで無い。
レジャー施設	茨城空港の影響で韓国からのお客様の問い合わせがあった。	
理・美容店	サービス業として、現状の様な社会では、一度来店された方には、店の印象、技術の確かさ、よい接客を心がけ、お客が更に行きたくなるようサービス業全体で考えることだと思います。	
理・美容店	世の中は今、健康志向になっていると感じる。マッサージや健康グッズが良く売れているので。	
住宅販売会社	実際に購入するか否かに拘らず、住宅に対する関心の高まりを感じる。	
企業	農業関係者	青果物の不作で単価は高くなるが、消費が少なくなる。
	農業関係者	来春卒業生（大学）の母親が来所したときの話として、子供の職業先が今になっても決まらず大変だとの話。私の子供は本年4月から働いています。内定率がかなり低いとのこと。社会的な問題です。
	製造業（食料品）	東京に行くと280円均一の居酒屋チェーンがやたらと多いことに驚きます。こういった流れが地方にも来るかどうか気になるところです。
	製造業（食料品）	短期的に見れば、自動車の乗換や液晶テレビの買換が夏頃から11月頃迄活発に見られたが、それ以降は逆にサイフの紐を締めた人達の方が多い。
	製造業（印刷・同関連業）	政治があまりにもお粗末過ぎる。
製造業（化学工業）	パソコン、液晶等の需要が伸びていない、i-Padやスマートフォン関連のみ需要が旺盛である。	

製造業（窯業・土石製品）	我々の現状は主に中国材輸入石が多くなっているが、その中国材に限っても輸入量が激減しております。来年からは単価も値上げの話はありますが、予約する元気はありません。	
製造業（窯業・土石製品）	最近、新聞などで「TPP」という字が目につくことが多い。これは現在の日本にとって、参加し、そして「FTA」に進んでいかなければ「明日の日本の成長」はありえません。成長する分野に人もお金も投資しないで、なぜ衰退していく農業にお金・税金を投入するのか私には理解できません。私の家の近くの碑に「一殺多生」という文言があります。何かを失わずに全部が良くなることは出来ないと思いますが。	
製造業（金属製品）	”引合い”があり見積りを提出する際に、利益を無視した金額を提示する事がある。客先は”今が買い時”と考えているらしい。	
建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・販売品で安く売る商品ばかりが目立ちすぎる（本来の品質を無視）。 ・高齢者の老後不安が目立ち、消費に不安を感じている。 ・未就職者が目立ち、社員自体もサラリーマン意識が強くなりベースUPが無くても文句も言わない。 ・小売業が破壊されてしまった気がする。 	
運輸業（道路貨物運送業）	勝ち組・負け組の仕分けじゃないが、大きい所は生き延び、小さい所が吸収されていくような感じがする。	
金融業	11月末のエコポイント改正により、駆け込み需要から家電量販店の混雑が見られ薄型テレビ等の品薄状態が散見されていた。	
不動産業	離婚や自己破産のための財産分与、財産処分を考えている人が不動産の査定を依頼することが多くなってきている。	
雇用	人材派遣業	食品関係の仕事は少ないのですが、増減なしです。他の職種は良くありません。
	求人広告	閉店、閉業が最近増えている様に思う。
	公共職業安定所	携帯電話の買い替えが少なくなった。地上デジタルTVが売れないでいる。大学生の子供がアルバイトを始めた（小遣程度）。
	学校就職関係者	鋼材・資材の価格が、若干値上がり傾向にある。
	就職相談員	内職の求人と求職者が増えている。